

一般社団法人 京都知恵産業創造の森 令和4年度 事業報告書

1 概 要

本法人の活動4年目となる令和4年度においては、コロナ禍や人口減少、DXの推進や脱炭素社会への転換といったさまざまな社会環境の変化の中にあっても、これまでから実施してきた産業人材の育成支援に関する事業や交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業、スマート社会等の実現に関する事業や産学公連携の推進、さらにはスタートアップの創出及び成長支援の推進に努めてきた。

産業人材の育成支援については、京都商工会議所や京都信用保証協会、地元金融機関等の様々な支援機関と連携し、大学生や若者、中小企業の後継者といった対象者別のスキルアップのためのセミナーや個別支援、交流などのニーズに合わせた事業や各フェーズに合わせた事業を実施した。様々なテーマでセミナーやイベントを効果的に実施することで、参加者間において交流が生まれ、新たなコミュニティの形成を図ることに寄与した。

交流と協働による新たな価値創造の推進については、京都経済センターの入居団体をはじめとする京都企業の育成を担う様々な団体や京都経済センターを利用する多様な人々がKOINに集まり、KOINで交流する館内交流事業を企画し、京都経済センターを核とした、京都経済の発展と活性化に繋がる事業を実施した。

スマート社会の推進については、スマート社会実装化促進事業等を通じて、新たなサービスや技術開発等のイノベーション構築に向けた取組への支援を引続き実施した。また、関係支援機関との情報共有や連携を密に行い、DXを活用したスマートイノベーションに関するセミナー等も共同で開催した。

産学公連携の推進については、大学や学生が実施する社会課題解決や地域課題解決に向けた取組への支援や、大学と企業との連携による研究開発への支援等を引続き実施するとともに、企業と大学、あるいは、企業と企業との橋渡し役となり、相談窓口での対応やマッチング事業を行った。また、産学公連携プラットフォーム会議での情報交換、情報発信を密に行うとともに、参画する大学との共催企画を実施するなど、産学公連携の強化を着実に推進した。

スタートアップの推進については、シード期前後のスタートアップに向けたセミナーやマッチングイベントを開催するとともに、相談体制の充実やコミュニティ形成を図ることによってスタートアップ創出環境の整備に取り組んだ。また、京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営や京阪神スタートアップの連携強化を行うとともに、スタートアップの成長ステージに即した支援やベンチャーキャピタルとの連携強化による資金調達支援等の推進に取り組んだ。さらには、より若い年齢時から起業への関心を持ってもらうため、小中学生や高専生を対象としたアントレプレナーシッププログラムも実施した。

2 会議等

(1) 社員総会・理事会

令和4年度は、社員総会を3回(決議の省略の方法によるものを含む。)、理事会を4回(同)開催し、令和3年度の事業報告や令和5年度の事業計画及び収支予算等を審議するとともに、令和4年度の業務執行理事の業務報告等についても確認した。



日 程	会 議	議 題
決議があったとみなされた日 令和4年5月11日	(決議の省略の方法による) 理事会	第1号議案 臨時社員総会の決議の省略の決定の件
決議があったとみなされた日 令和4年5月16日	(決議の省略の方法による) 社員総会	第1号議案 理事2名選任の件
令和4年6月14日	第11回理事会	第1号議案 令和3年度事業報告について 第2号議案 令和3年度決算について 報告事項 理事長及び専務理事(業務執行理事)に係る業務報告について
令和4年6月14日	定時社員総会	報告事項 令和3年度事業報告について 第1号議案 令和3年度決算関係書類の承認について 第2号議案 理事及び監事の選任について
令和4年6月14日	第12回理事会	第1号議案 理事長、副理事長及び専務理事の選定について 第2号議案 顧問の選任について 第3号議案 顧問の再任について 第4号議案 臨時社員総会の招集について
令和5年3月17日	臨時社員総会	第1号議案 令和5年度の会費の決定について

令和5年3月17日	第13回理事会	第1号議案 令和4年度補正予算について 第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算について 第3号議案 一般社団法人京都知恵産業創造の森 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について 第4号議案 一般社団法人京都知恵産業創造の森 嘱託職員就業規則の一部改定について 第5号議案 定時社員総会の招集について 報告事項 理事長及び専務理事(業務執行理事)に係る業務報告について
-----------	---------	---

(2) 事業推進協議会

本法人の取組に関する意見交換、オール京都のビジョン共有及び連携協議の場として、経済団体や産業支援機関等で構成する事業推進協議会を2回開催。



日 程	出席団体	議 題
令和4年4月22日	京都産業21、京都高度技術研究所、京都リサーチパーク、関西文化学術研究都市推進機構	協議事項 1 本法人の事業運営について 2 本法人の事業計画について 3 その他
令和5年3月2日	京都府、京都市、京都商工会議所、京都工業会、京都信用保証協会	協議事項 1 令和5年度予算(収入)(案)について 2 令和5年度事業計画の概要(案)について

(3) 広報誌発刊

本法人の取組や実績に関する情報を広く発信することにより、企業、大学、産業支援機関、行政、起業家及び学生等との良好な関係を維持・強化するとともに、様々な交流と協働を促進することを目的に、広報誌(季刊)を継続発刊。また、KOIN において実施した「西脇知事と語る会」及び「門川市長と語る会」での模様をまとめた特別号も発刊。

■季刊

発行日	掲載記事	誌面(参考)
令和4年5月31日	・スマート社会実装化促進事業補助金採択企業紹介 ・KOIN ビジネス実践ラボ採択の学生起業家紹介 ・KOIN T シャツデザインコンテスト ・KOIN の受付紹介	
令和4年8月31日	・スマート社会実装化促進事業補助金採択企業紹介 ・BizWorld in 京都 ・KOIN アイデアサポーター、女性コンシェルジュ紹介 ・産学公連携プラットフォーム会議 ・職員の活動報告 ・KOIN の受付紹介	
令和4年11月30日	・KOIN ビジネス実践ラボ 2022 実践プラン認定書交付式 ・web3.0/メタバースピッチ事業 ・KOIN での交流会 ・スマート社会実装化促進事業補助金採択企業紹介 ・KOIN の受付紹介	
令和5年2月28日	・高専ビズ デモ会 ・共創イノベーション in 京都経済センター Presented by KSAC ・KOIN マルシェの開催案内 ・スマートプロダクト認定式 ・KOIN の受付紹介	

■特別号

発行日	掲載記事	誌面(参考)
令和4年10月31日	西脇知事と語る会 in KOIN	
令和5年2月17日	門川市長と語る会 in KOIN	

3 産業人材の育成支援に関する事業

(1) 産業人材育成に係る企画、運営

産業人材の育成に向けて、多様な組織・団体等と連携し、様々なテーマでイベントやセミナーを実施した。

金融機関においては、日本政策金融公庫と連携し、女性起業家育成を目指した「女性起業家支援セミナー」、京都中央信用金庫と連携し、ものづくり企業の次世代に向けたビジネス展開を模索した「ものづくりアイデアソン 2022」、京都信用金庫と連携し、食をテーマにベンチャー企業の販路開拓を後押しする「Question×KOIN マルシェ」等を実施した。

また産業支援機関等においては、京都商工会議所と連携し、次世代の起業家育成に向けた「起業家ひざづめ交流会」、京都信用保証協会と連携し、中小企業の後継者に対して時代に合わせた経営の多角化等を支援する「京都アトツギゼミ／京都アトツギベンチャーDAY」等を実施した。

詳細は以下(2)の通り。

(2) 多様な主体との連携による効果的な人材育成の推進

■女性起業家支援セミナー(日本政策金融公庫京都支店共催)

テーマ	女性起業家が語る起業の本音！		
内 容	京都女性起業家賞受賞者からの起業秘話を聞き、数々の女性キャリア支援に携わってきた専門家から、その経験から女性が起業するために押さえておくべきポイントについてお伝えする。		
講 師	【パネリスト】 隠岐 綾子氏(米粉と小麦のひびきぱん 代表) 中村 敦美氏(株式会社サポートどれみ 代表取締役) 【ファシリテーター】 伊藤 弥生氏(伊藤弥生公認会計士事務所 代表)		
開催日	7月22日(金)14:00～16:00		
共 催	日本政策金融公庫京都支店／輝く女性応援京都会議		
参加者	会場:23名 オンライン:17名	開催方法	ハイブリッド

■高校生ビジネスプラン・グランプリ 京滋地区発表会(日本政策金融公庫京都支店共催)

内 容	日本政策金融公庫の「第 10 回高校生ビジネスプラン・グランプリ」において、京都・滋賀の高校からエントリーし入賞した6校に発表の機会を設け、相互の交流を図った。		
出場校／ ビジネスプラン	学校名	プラン名	
	洛陽総合高等学校	新京漬物～京北の新京野菜でフリーズドライ漬物～	
	滋賀県立大津商業高等学校	ブラックバスの回収による環境保全からの利益回遊	
	京都府立桂高等学校	京都発！コーヒー残渣から生まれる循環型社会	

	京都先端科学大学 附属高等学校	都市蜜源を有効活用せよ
	滋賀県立虎姫高等学校	めざせ資源の地産地消！ お米でできたプラ製品で地域の魅力を発信
	立命館守山高等学校	和菓子LOVERな若者を増やそうプロジェクト
プログラム	1. 表彰式 2・基調講演 講師:伊澤 諒太 氏 (株式会社ハタプロ 代表取締役 CEO) 3. ビジネスプラン発表 4. ネットワーキング交流会	
開催日	12月 25 日(日)13:30~17:30	
共 催	日本政策金融公庫京都支店	
参加者	会場:45名 オンライン:15名	



■ 中信ものづくりアイデアソン 2022(京都中央信用金庫共催)

内 容	新たな価値共創を担う次世代人材育成プログラム。参加企業からそれぞれ 2~3 名程度の参加者を募り、他の参加者と複数名で構成するチームを組成し、新たな製品・サービスの創出に向けたアイデアソンとして開催する。
参加企業	6 社(14名) 株式会社 ShinSei/エンゼル工業株式会社/株式会社トスレック/株式会社辻製作所/ 株式会社 Food で plus/株式会社佐藤医科器械製作所
プログラム アドバイザー	北林 功 氏(COS KYOTO 株式会社 代表取締役)

プログラム

<募集説明会>

4月26日(火)16:00~18:00 場所:KOIN またはオンライン

<参加者訪問> ※アドバイザー及び事務局が参加企業を訪問

5月23日(月)~6月3日(金)

<ファクトリーツアー> ※チーム組成のために参加者間で工場を訪問して理解を深める

6月21日(火)・29日(水)



<アイデアソンのチーム組成>

7月6日(水)15:00~18:00 場所:KOIN

<中間報告会>

8月5日(金)15:00~18:00 場所:KOIN

<成果報告会>

10月20日(木)15:00~18:00 場所:KOIN

発表①:チームあそびどころ

「どんだけ元気やねん! MR(複合現実)で心と体を豊かにするウェアラブル」

発表②:チーム food で memory

「食の記憶~幸せな記憶の思い出を食卓に~」

発表③:チーム稼働率ラボ

「労働者不足を補うために」



共 催

京都中央信用金庫

■中信学生デザインコンテスト2022／表彰式(京都中央信用金庫共催)

内 容	学生を対象とした、京都の「食」をテーマにしたパッケージデザインのコンテスト。 地域の様々な「食」に関する商品の魅力を伝え、価値を高める新たなパッケージデザインのご提案を広く募集し、次代を担う大学生・大学院生・専門学校生の斬新・創造的なデザインを発掘し、産学公連携を通じたビジネスマッチングの機会創出により地元企業の発展に寄与することを目的して開催。  
表彰式	10月 25 日(火)16:00～17:00
開催場所	KOIN・京都経済センター 3-H
共 催	京都中央信用金庫
提 供	京都知恵産業創造の森賞(副賞5万円)
受賞者	酒井 月乃 氏(京都美術工芸大学 1 年) 作品名:「京灯菓(きょうとうか)」 

■QUESTION×KOIN マルシェ(京都信用金庫共催)

内 容	QUESTION 利用者と KOIN 利用者の交流事業として共同マルシェを実施。 既に3回の開催実績がある KOIN マルシェであるが、参加条件に一定の制約(業歴3年までの事業者)があり、過去参加者より継続した販路開拓支援を望む声があり、本件にてそのニーズを補完。今回は「食」をテーマにイベントを実施すると共に、KOIN より4社推薦し出店頂く運びとなる。(合計10社が出店)
-----	--

		
出店者	Marooni Grupo 株式会社(緑のゆうき) 株式会社 RE-SOCIAL 株式会社 ローカルフラッグ 株式会社 アドプランツコーポレーション	
共 催	京都信用金庫	
開催日	12月7日(水)12:00~17:00	
参加者	4社(KOINより)	開催場所 京都信用金庫 QUESTION

■まちとかかわる学校（京都信用金庫・京都リサーチパーク株式会社共催）

内 容	経済を取り巻く環境がシフトしていく中、従来以上にコミュニティマネージャー（顧客とサービス提供者のハブとなる存在）の役割を担う人材が注目されている。今後の京都経済発展を見据えた中、起業家支援・コワーキングという共通項を持つ3社（京都信用金庫・KRP・知恵森）において人材育成（主に各所に従事する職員）、及び、支援機関間の連携強化の観点からワークショップ形式での連続講座を実施。	
		
講 師	青木 純(株式会社まめくらし 代表取締役) 宮田 サラ(株式会社まめくらし)	
共 催	京都信用金庫・KRP	
開催日	11月28日(月)14:30~19:30 12月19日(月)14:30~17:00 1月13日(金)14:30~17:00 2月13日(月)14:30~17:00 3月16日(木)14:30~19:30	
参加者	22名(内、知恵森関係者6名) ※知恵森×3・京都府×1 京都市×1・京都商工会議所×1	開催場所 京都信用金庫 QUESTION KRP KOIN

■女性起業家向け創業セミナー(京都銀行・京都信用保証協会共催)

内 容	実際に起業を果たし、事業を営んでいる3名の女性起業家を招いて、起業を目指したきっかけ、起業に至るまでの苦労話、起業して感じた喜びや戸惑い等の実体験を語り、参加者と女性起業家との交流の場を設けた。		
講 師	平塚 陽子 氏 (株式会社シーラ 代表取締役) 後藤 友美 氏 (株式会社 SUSTAINABLEME 代表取締役) 森 麻里 氏 (ATTRACTIC 株式会社 代表取締役)		
共 催	京都銀行、京都信用保証協会		
開催日	6月3日(金)17:00~20:00		
参加者	15名	開催場所	京都経済センター3階 3-F 会議室

■創業期1day ビジネススクール(京都信用保証協会共催)

内 容	創業期において様々な事業課題を抱える事業者の方々に向け、今の事業を客観的に見つめなおし、より成長していけるような機会を提供するとともに、先輩事業者の体験談やビジネスモデルの再構築、財務・広報・クラウドファンディングについてその分野の「プロ」から学べるイベントを開催。		
講 師	新井 恭子 氏 (京都サンダー株式会社 代表取締役) 石井 規雄 氏 (中小企業診断士) 伊藤 弥生 氏 (結税理士法人 代表社員 税理士・公認会計士) 松岡 宏治 氏 (株式会社マクアケ 関西支社長) 上田 誠一郎 氏 (株式会社インタナショナルシューズ 専務取締役) 立藤 慶子 氏 (編集事務所 c o i l l t e /中小企業診断士)		
共 催	京都信用保証協会		
開催日	7月13日(水)9:30~18:00		
参加者	16名	開催場所	京都経済センター3階 3-H 会議室



■京都アトツギゼミ 2022~後継者の新事業創出と長続きするコミュニティ形成を目指して~ (京都信用保証協会共催)

内 容	京都府下の後継者が家業の持つ経営資源を活用し、新たな発想や技術を掛け合わせ新事業創出を行う為のノウハウや知識を取得する場とすると共に、KOINを拠点にアトツギコミュニティの構築を図ることを目的に実施。アウトプット型の事業として、連続5回のプログラム形式で実施。		
講 師	伊澤 慎一(シンク・アンド・アクト株式会社 代表取締役)		



共 催	京都信用保証協会		
開催日	10月21日(金)18:00～21:00 10月31日(月)18:00～20:00 11月11日(金)18:00～20:00 11月22日(火)18:00～20:00 12月9日(金)18:00～21:00		
参加者	13名	開催場所	KOIN・3-F 会議室

■京都アトツギベンチャーDAY(京都信用保証協会共催)

内 容	京都府下の後継者が家業の持つ経営資源を活用し、新たな発想や技術を掛け合わせ新事業創出を行う為のノウハウや知識を取得する場とすると共に、KOINを拠点にアトツギコミュニティの構築を図ることを目的に実施。インプット型の事業として、アトツギベンチャーとして成功を収めている先駆者3名を講師として招き、セミナー形式で実施。  		
講 師	脇本 真之介 氏(ワキ製菓株式会社 代表取締役社長) 岡本 諭志 氏(株式会社清華堂 代表取締役) 片山 淳一郎 氏(環境機器株式会社 代表取締役社長)		
共 催	京都信用保証協会		
開催日	3月10日(金)12:30～18:30		
参加者	21名	開催場所	KOIN・3-F 会議室

■第1回知恵産業の森サロン(京都商工会議所共催)

内 容	知恵ビジネスに取り組む企業事例を学び、自社に活かせるビジネスのヒントを見つける気軽な参加型サロン。知恵-1グランプリチャレンジ部門受賞企業2社の事例をもとに、自社の強みの見つけ方や知恵を掛け合わせることで広がるビジネスの可能性について考える。		
テーマ	自社の強みってどう見つけるの?～ビジネスのアイデアを考えよう～		
プログラム	① 事例発表(第2回知恵-1グランプリ 受賞企業の強み) 浅井 洋平 氏(株式会社東五六 代表取締役社長) 宮永 朋美 氏(株式会社プレメーズ 常務取締役) ※ファシリテーター:竹内 弘一 氏(キャスター・ジャーナリスト) ② 名刺交換会		
開催日	7月28日(木)18:00～19:30		

開催場所	KOIN
共 催	京都商工会議所
参加者	会場:20名 オンライン:19名

■起業家ひざづめ交流会(京都商工会議所共催)

内 容	創業間もない起業家や起業予定者に対し、先輩経営者から成功の秘訣等の気づきを提供するとともに、学生等に対して起業家精神を養成することを目的に開催する。「京都・知恵アントレ大賞 2022」受賞者より、創業に至るまでの経緯や成功のエッセンス、失敗談をざっくばらんにお話し頂く。
テーマ／ 講 師	第1回:「アプリビジネスの始め方&育て方」 クエシエンコ アンナ 氏(Flora 株式会社 代表取締役) 藤木 庄五郎 氏(株式会社バイオーム 代表取締役) ファシリテーター:山本 敏行 氏(SEVEN 代表/Chatwork 創業者) 第2回:「～大学シーズで起業!～ディープテックビジネスの始め方&育て方」 梅川 忠典 氏(リージョナルフィッシュ株式会社 代表取締役社長) 角田 健治 氏(iHeart Japan 株式会社 代表取締役社長) ファシリテーター:牧野 成将 氏(株式会社 Monozukuri Ventures 代表取締役)  
共 催	京都商工会議所
開催日／ 場所	第1回:1月10日(火)15:00～16:30 フェニクシー toberu2 第2回:1月24日(火)18:30～20:00 京都大学国際科学イノベーション棟東館1階ラウンジ
参加者	第1回:43名 第2回:15名

■KOIN 資金調達研究会～創業時の資金調達は どうしてる? 起業家の本音を探ります。～ (京都市高度技術研究所(ASTEM)・京都市共催)

内 容	数多くの起業家より寄せられる悩みの1つが「資金調達」であり、実際にどのように準備を進めればよいか等の問合せも多数ある。起業時に考えられる資金調達にはどのような手段があるのか? 本件では先輩起業家の創業時の資金調達ストーリーを紹介すると共に、起業家が直面する資金調達のリアルについて探求することを目的にセミナー形式でのイベントを実施。 また、地元金融機関にも協力を仰ぎ、起業家×金融機関の交流促進を図った。
-----	--

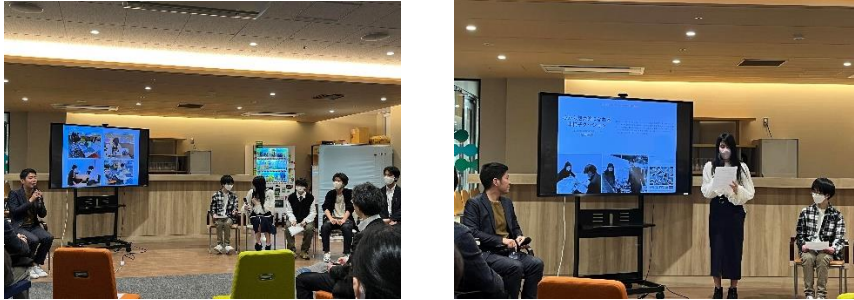
	企画内容 □ イベントタイトル: KOIN資金調達研究会 Vol.00 ～起業時の資金調達は どうしても？ 起業家の本音を探ります。～ ・融資、出資、補助金、クラウドファンディングなど様々な資金調達の手法を、ショート講演も交えてに実践経験あてられている京都のスタートアップ・起業家からケーススタディとして「学ばせ」「得る」を促す場」を提供 ・地域金融機関の方と気軽に「出会える場」をKOINに設ける □ 参加者: 起業家・経営者、起業に関心のある方、起業を目指す方、金融機関、VC、支援機関 □ 日 程: 2022年9月14日(水) 18:30～20:30 @KOIN ※好評なら第2、第3弾を開催する。 □ タイムスケジュール 18:30～18:35 オープニング、趣旨説明 18:35～19:05 ショート講演「創業時の資金調達手法について」 講師: 北條 明宏 氏(北條公認会計士・税理士事務所) 19:10～20:00 京都の起業家によるケーススタディトークセッション 「創業時の資金調達は どうしても？ 起業家の本音を探ります。」 登壇者: 京都スタートアップ(2社) 北條先生(進行) 20:00～20:30 交流会		
講 師	北條 明宏 氏(北條公認会計士・税理士事務所 代表) 藤本 翔 氏(株式会社 Casie 代表取締役 CEO) 押尾 忠宏 氏(CHANTMEAL 株式会社 共同代表者)		
共 催	ASTEM・京都市		
開催日	10 月 11 日(月)18:30～20:30		
参加者	30 名	開催場所	KOIN

■KYOTO アントレプレナー MEET UP ～スポーツの力で地域活性化！～ (京都市高度技術研究所(ASTEM)共催)

内 容	アントレプレナーシップ養成イベントとして京都で活躍する起業家との MEET UP イベントを実施。地域活性化をテーマに、卓球「Tリーグ」に今年度から参戦した「京都カグヤライズ」の創設者(監督)の池袋氏を講師に招きセミナー形式で実施。		
講 師	伊藤 弥生 氏(結税理士法人 代表社員 税理士・公認会計士) 池袋 晴彦 氏(株式会社京都卓球クラブ 代表取締役)		
共 催	ASTEM		
開催日	1 月 26 日(木)18:30～20:00		
参加者	13 名	開催場所	KOIN

■ユース・アントレプレナーシッププログラム～中高生が商品開発・販売にチャレンジ～ (京都市高度技術研究所(ASTEM)・京都リサーチパーク株式会社・京都信用金庫共済)

内 容	中高生向けアントレプレナーシップ養成イベントとして、株式会社 MIYACO を中心に組成されたプログラム。参加者と同年齢(10 代)で起業した先駆者を招き、起業の魅力を伝えと共に、自らのアイデアを具現化(商品開発)にすることで起業への興味・関心を高めるプログラム。		
-----	---	--	--

		
講 師	仲田 匡志 氏(株式会社 MIYACO)	
共 催	ASTEM・京都市・京都信用金庫・KRP	
開催日	11月23日(水)14:00~16:30 12月 3日(土)14:00~16:30 12月24日(土)14:00~17:00 1月14日(土)13:30~17:00 1月28日(土)13:30~17:00 2月11日(土)13:30~17:00 2月25日(土)13:30~17:00	
参加者	5名(選考により選出)	開催場所 QUESTION KRP KOIN

■SILK オープンデー in KOIN(京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK)共催)

内 容	雑談から生まれる「問い」を深めたり、ソーシャルイノベーションに関する個別相談にのる機会を設けると同時に、経済センター館内で働く人や KOIN 利用者、社会課題解決型ビジネスを支援している SILK 関係者が相互に交流し、そこから新たな価値を生み出すことを目指すオープンイベント。
開催日	5月17日(火)14:00~20:00
開催場所	KOIN
共 催	京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK)
プログラム	① SILK×KOIN オープンイノベーション相談会 ② SILK 活用方法ミニセミナー ③ KOIN CAFÉ(colon coffee roasters)14:00~16:30 ④ KOIN BAR(BAR カタルシス)17:00~20:00



■エコシステムマップ ミートアップ(京都リサーチパーク株式会社共催)

内 容	場に集い交流することで生まれる関係性を見える化し、人と人がより強く繋がるためのツール「エコシステムマップ」を活用した交流イベント。
テーマ	第1回:関係性の見える化と関係構築体験 第2回:副業・創業初期の壁を乗り越えるための関係資産づくり -対話が生む価値を最大化するワーク-
開催日	第1回:11月17日(木)18:30~20:30 第2回:2月2日(木)18:30~20:30
開催場所	KOIN
共 催	京都リサーチパーク株式会社／株式会社 Gns
参加者	第1回:17名 第2回:18名

■ティー・エレメント茶会(若王子倶楽部 ギャラリー左右共催)

内 容	京都にもかかわりの深い「茶の文化」を若手起業家等に向けて発信するため、抹茶と煎茶の違いやそれぞれの道具(ティー・エレメント公募展の入賞作品を含む)、日本文化と茶などについての対話を通じて、文化としての茶を楽しみながら参加者同士の交流を深めるイベントを実施した。	
開催日	6月4日(土) ①11:00～12:30 ②13:30～15:00 ③15:30～17:00	
開催場所	KOIN	
共 催	若王子倶楽部 ギャラリー左右	
参加者	32名(①②③の合計)	

4 交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業

(1) オープンイノベーションカフェ「KOIN」の運営

■KOIN 運営状況

令和4年度 利用者数	11,973名		
登録者数 ※3月31日現在	5,043名	イベント等 実施回数	227回
運営における 特記事項	・受付方法の変更(4月11日～) 会員のマイページに表示される二次元コードの読み取りによる入退場管理へ変更 ・営業時間の変更(12月5日～) 9～19時 → 9～21時 へ変更 ・席数の変更(12月5日～) 約40席 → 60席 へ変更 ・入場者プロフィールの表示機能を実装(3月1日～) 入場者(KOIN 利用者)の情報を KOIN 内モニター及び KOIN ウェブサイトに掲載することで、利用者同士の交流促進ツールとして活用する		

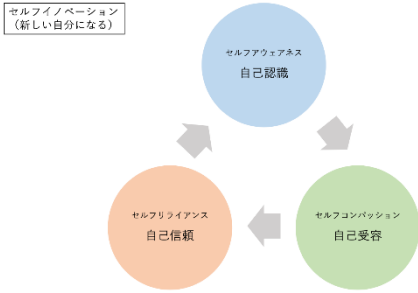
① 多様な人々によるオープンイノベーションカフェ「KOIN」の活用促進

■学生連携企画「KOIN BAR」(カタルシス連携)

内 容	交流と出会いの場である KOIN において学生と社会人の接点を生み、学生が今後のキャリアや働き方、起業など多様な可能性に触れる機会を創出することで、学生の力を最大限に発揮し、京都の未来を創る産業人材として羽ばたいていくためのきっかけとなるイベントを、KOIN 受付業務を委託している株式会社カタルシスに関係している学生の企画・運営で実施した。		
テーマ	第1回:THE HAT SHOP IS COMING 出張帽子屋さん in KOIN 第2回:Figma Design Hackathon-わくわく、つくってあそぼ- 第3回:DAO のキホンを押さえよう 第4回:KOIN DAO BAZAAR   		

	 
共 催	株式会社カタルシス
開催日	第1回:5月31日(火) 第2回①:9月8日(木) 第2回②:9月9日(金) 第3回:10月24日(月) 第4回:11月29日(火)
参加者	第1回:7名 第2回①:4名 第2回②:40名 第3回:13名 第4回:30名

■KOIN 塾

内 容	働く現役世代(ビジネスパーソン)向けに、スキルアップやキャリアチェンジなどの様々な選択肢を示すとともに、自身が望む選択肢にはどのようなスキルが求められるのか、また、そういったスキルをどのように身につけていくのかをレクチャーするプログラムを実施することで、多様な働き方・生き方の普及を促進していくイベントを開催。  セルフイノベーション (新しい自分になる) 		
テーマ	第1回:マーケットシフト(社会を知る) 第2回:セルフアウェアネス(自分を知る) 第3回:ロールモデルゲストとのトークセッション 第4回:セルフコンパッション(受け入れる) 第5回:ロールモデルゲストとのトークセッション 第6回:セルフイノベーション(新しい自分になる) 第7回:ロールモデルゲストとのトークセッション		
協 力	一般社団法人 my turn		
実施日	8月～2月の第2土曜日(全7回) ※8月のみ第1土曜日に開催	参加者	110名(累計)

■コワーキングフォーラム 2022 in 京都(コワーキング施設連携事業)

内 容	全国各地のコワーキング運営者や、新しい働き方に取り組む方々をゲストに招き、互いに交流を深めて繋がりを構築するとともに、コロナによる変化を踏まえたコワーキングの本質や、ワーケーションなど多様化する働く場について考えるイベントを開催。		
協 力	株式会社ツナグム		
実施日	8月9日(火)	参加者	89名

■×(クロス)▽(バリュー)タ活セミナー事業

内 容	仕事終わりのタ活事業として、気軽に参加交流できるセミナー等を実施		
テーマ／講師	① ボードゲームで体験する「投資のエッセンス」 ～京大生が考案したボードゲであなたも資産家に！？～ 講師：京大ボードゲ研究所 ② レゴ® シリアスプレイ®メソッド体験会 わたしのミッション・ビジョンをつくろう！ 講師：山下 比佐暢 氏(合同会社カーニバルライフ 代表) ③ 【初心者必見】好きを仕事にしたい人のための SNS・ブログ活用講座 講師：福永 涼人 氏(有限会社ココロ・エンタテインメント 代表取締役社長) ④ EQ リーダーシップ高める講座 講師：山下 比佐暢 氏(合同会社カーニバルライフ 代表) ⑤ 街中スナック×KOIN 協力：まちなかスナック ⑥ 自分ブランドの育て方 講師：福永 涼人 氏(有限会社ココロ・エンタテインメント 代表取締役社長) ⑦ 社内起業・新規事業創出に向けたやさしい連続講座 (1)イノベティブな発想方法① (2)イノベティブな発想方法② (3)事業案のたてかた 講師：品川 啓介氏(福岡女子大学リーダーシップセンター 教授)		

	   
実施日	①5月16日(月) ②8月10日(水) ③9月30日(金) ④11月15日(火) ⑤11月21日(月) ⑥12月20日(火) ⑦2月1日(水)・8日(水)・15日(水)
参加者	①12名 ②14名 ③24名 ④29名 ⑤20名 ⑥16名 ⑦(1)20名 ⑦(2)15名 ⑦(3)20名

■京都経済センター館内交流事業

内 容	京都経済センター内の経済団体間の交流を目的に、KOIN を舞台に館内団体が働く人が気軽に集える機会を創出するイベントを開催した。
テーマ／協力	① KOIN Gathering Café 協力：京都珈琲学部 ② 『食べる腸活』ミニランチ教室 協力：伊藤 佳世 氏(アクセラレータープログラム卒業生、(一社)ライフフーズアカデミー) ③ KOIN マップ活用ワークショップ 協力：タナカユウヤ 氏(株式会社ツナグム)  
実施日	①4月25日(月) ②6月20日(月) ③7月7日(木)
参加者	①78名 ②9名 ③20名

② 起業やスタートアップの発掘・育成と事業展開に向けた支援の取組の実施

■KOIN アイデアサポーター／アイデア相談窓口

内 容	KOIN アイデアサポーター／アイデア相談窓口を開設し、KOIN に寄せられる多種多様な相談をワンストップで対応した。
サポーター	<アイデアサポーター> 藤井 哲也 氏(株式会社パブリック X 代表取締役／一般社団法人リリース 理事) 戸川 直美 氏(マネージャー・プロフェッショナルコーチ／Will Management-Company) 山本 周雅 氏(京都大学総合人間学部6回生/株式会社 Katharsis 代表取締役) <アイデア相談窓口> 清水 浩司 氏(株式会社ガイアックス スタートアップスタジオ事業部 事業メンター/人事担当マネージャー/家業の居酒屋経営)
開催日	<アイデアサポーター> 6月23日(木)／7月7日(木)／7月21日(木)／8月2日(火)／8月18日(木)／9月8日(木)／9月22日(木)／10月5日(水)／10月12日(水)／10月20日(木)／11月15日(火)／11月17日(木)／12月8日(木)／12月15日(木)／1月12日(木)／1月19日(木)／2月14日(火)／2月16日(木)／3月9日(木)／3月16日(木) ※6/23～8/18は 10:00～10:45/11:00～11:45/13:30～14:15/14:30～15:15/15:30～16:15 9/8～3/16は 10:00～11:00/11:30～12:30/13:30～14:30/15:00～16:00 <アイデア相談窓口> 9月13日(火)／10月17日(月)／11月10日(木)／12月16日(金)／1月17日(火)／2月17日(金)／3月17日(金) ※10:00～10:50／11:00～11:50／13:00～13:50／14:00～14:50
利用者数	<アイデアサポーター> 60名 <アイデア相談窓口> 23名 ※累計

■女性コンシェルジュによる相談窓口

内 容	「自身がもつアイデアをどのように実現していけば良いかわからない」、「同じ思いをもつ仲間を探したい」、「仕事と子育てに関して相談したい」、「自分らしい生き方・働き方について相談したい」など、どんなことでも気軽に相談できる窓口として、毎月第2月曜日と第3水曜日に開設。経営やコミュニティマネージャー等の経験が豊富な女性コンシェルジュが相談対応を行う。  
-----	---

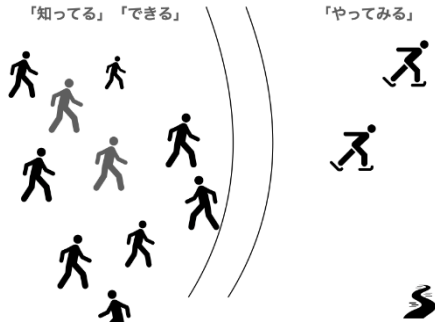
協 力	一般社団法人 my turn		
実施日	6月～3月の 第2月曜日(PM) 第3水曜日(AM) (全20回) ※当日が祝日の場合は翌日に振替	利用者	53名 ※累計

■THE LEAN LAUNCH PAD

内 容	シリコンバレー生まれのシードアクセラレーションプログラム。「デザイン思考」や「リーンスタートアップ」など、事業をゼロから実現するための手法を学び、ビジネスプランの作成からアイデアの事業化を目指す実践講座。講座では、ホームワークで仮説と検証を繰り返しながら実践的に事業創造手法を学び、3名程度のチームを組んでビジネスアイデアの事業化に取り組む実践型のプログラムとして実施した。		
対 象	「既にアイデアをお持ちの方」、「アイデアはまだないが、ゼロから考えてみたい方」、「他の人のアイデアを一緒に実現させることで、事業化プロセスを体験したい方」など		
スケジュール	説明会:6月24日(金)18:00～19:00 第1回:7月23日(土)9:30～18:00 「新商品アイデアを考える(デザイン思考)」 第2回:8月11日(木・祝)9:30～14:30 「新商品の価値を検証する(リーンスタートアップ)」 第3回:8月27日(土)13:00～17:00 「ビジネスモデルをデザインする(ビジネスモデルキャンバス)」 第4回:9月10日(土)14:30～18:30 「収益モデルを構築する(シンプル収益モデル)」 第5回:9月22日(木)17:30～20:30 「スケーラビリティデザイン(ボーリングアレイ式展開戦略)」 第6回:10月16日(日)14:30～18:00 「DEMODAY(お披露目会)」    		

講 師	堤 孝志 氏(スタートアップ・ブレイン株式会社 代表取締役) メンター:松橋 俊彦氏(国立研究開発法人情報通信研究機構 マネージャー、 ボストン大学 MBA、RTTP(国際認定技術移転プロフェッショナル)) 吉武 直毅 氏(オムロン株式会社) 正木 達章 氏(オムロン株式会社)
修了者	22名

■U35 起業家育成プロジェクト事業

内 容	35歳以下の若年者を対象に起業に対する心理的ハードルを下げ、起業に向けた機運を醸成するとともに、起業を志す者同士のネットワークを形成
テーマ	①はじめは小さくスタート！スモールビジネスの立ち上げ方と辞め方 ②全力で働くが全てじゃない!? これからのやさしい起業・副業/復業・ワークシェア を学ぶ 90 分 ③好きな場所で、理想の仕事ができるワタシへ ～『日本・京都/196 ヶ国』で働く価値～ ④日本語が上手じゃなくても日本で働ける!? 週 28 時間でも、働き・起業ができるポイント ⑤カラフルワークな働き方と実践の仕方を考える ⑥10 代、20 代、30 代が語る、これからのリアルな起業！  
協 力	株式会社MIYACO
実施日	①6月30日(木) ②11月28日(月) ③1月12日(木) ④1月19日(木) ⑤3月20日(月) ⑥3月28日(火)
参加者	①29名 ②25名 ③11名 ④8名 ⑤5名 ⑥22名

■ビジネス実践ラボ

内 容	起業を志す学生を対象に、ビジネスプランの作成から事業実践まで一気通貫で起業体験ができるプログラムを実施。事業の実践を通して起業のノウハウを体験することで、起業に向けた第一歩を後押しする機会提供を目指すビジネス体験プログラム。書類やプレゼンにより6組の優秀なビジネスプランを選出。選出プランに対して最大50万円の実践費用を提供し、職員、アドバイザーによる伴走支援のもと、実際の事業活動を体験する。
対 象	京都府内に拠点を置く大学・大学院・専門学校に通う学生
アドバイザー	石井 規雄 氏(結い経営 株式会社/SILK 経営コンサルタント・中小企業診断士) 木村 響子 氏(irocoto/SILK キャリアコンサルタント) 西村 敏 氏 (日本政策金融公庫 国民生活事業本部 京都創業支援センター所長)

プログラム	①応募期間 6月6日(月)～7月 25 日(月) ②応募説明会 7月4日(月)18:00～19:00 ③ビジネス基礎講座・個別相談会 8月 8日(木)18:00～20:00(基礎講座①) 8月23日(火)13:00～17:00(個別相談会① ※オンライン/希望者のみ) 9月 5日(月)18:00～20:00(基礎講座②) 9月 8日(木)13:00～17:00(個別相談会② ※オンライン/希望者のみ) ④プレゼン審査会 9月16日(金)13:00～21:00 ⑤認定証交付式・採択者説明会 10月14日(金)18:00～20:00 ⑥実践進捗報告会 11月18日(金)・12月16日(金)・1月20日(金)・2月17日(金) 各18:00～20:00 ⑦実践最終報告会 3月14日(月)18:00～20:00																												
認定プラン	<table><tr><th>氏名</th><th>学校名</th><th>プラン名</th><th>交付金額</th></tr><tr><td>柳 陽菜</td><td>立命館大学</td><td>childish 子どもの食で悩む親御さんと 専門家が繋がるオンラインルーム</td><td>500,000 円</td></tr><tr><td>兒島 雅偉</td><td>立命館大学</td><td>男性美容コミュニティメディ POLACE</td><td>400,000 円</td></tr><tr><td>山本 智一</td><td>京都大学 大学院</td><td>whicker まごとも</td><td>400,000 円</td></tr><tr><td>平本 有利佳</td><td>京都大学</td><td>ふたりべや</td><td>300,000 円</td></tr><tr><td>松崎 圭佑</td><td>同志社大学</td><td>MASIRO</td><td>200,000 円</td></tr><tr><td>小野 蓮音</td><td>同志社大学</td><td>長春</td><td>200,000 円</td></tr></table> 	氏名	学校名	プラン名	交付金額	柳 陽菜	立命館大学	childish 子どもの食で悩む親御さんと 専門家が繋がるオンラインルーム	500,000 円	兒島 雅偉	立命館大学	男性美容コミュニティメディ POLACE	400,000 円	山本 智一	京都大学 大学院	whicker まごとも	400,000 円	平本 有利佳	京都大学	ふたりべや	300,000 円	松崎 圭佑	同志社大学	MASIRO	200,000 円	小野 蓮音	同志社大学	長春	200,000 円
氏名	学校名	プラン名	交付金額																										
柳 陽菜	立命館大学	childish 子どもの食で悩む親御さんと 専門家が繋がるオンラインルーム	500,000 円																										
兒島 雅偉	立命館大学	男性美容コミュニティメディ POLACE	400,000 円																										
山本 智一	京都大学 大学院	whicker まごとも	400,000 円																										
平本 有利佳	京都大学	ふたりべや	300,000 円																										
松崎 圭佑	同志社大学	MASIRO	200,000 円																										
小野 蓮音	同志社大学	長春	200,000 円																										

■KOIN マルシェ in 大垣書店

内 容	知恵森(KOIN)が支援している、または関係・協力団体が応援している創業間もない方(概ね創業3年以内)・起業を志す学生などが開発した商品やサービスを展示販売できるチャレンジショップの場を提供。第3回目となる今回は、出品商品ごとに販売期間を分け、それぞれ2日間限定の2部構成で開催。 出店者同士の交流に加え、各部2日間を通じて多様な顧客との出会いにより自店の強み・弱みを再確認出来る学びの場となった。		
	 		
実施日時	第1部(小物・雑貨の部):10月21日(金)~22日(土) 第2部(食品の部):3月17日(金)~18日(土)		
場 所	大垣書店本店 イベントスペース「催」(京都経済センター1階)		
出店者	11社(第1部:5社・第2部:6社※) ※内2社はビジネス実践ラボ採択者		

■KOIN スキルアップ講座

内 容	KOIN 利用者(起業準備層)に向けたスキルアップ講座を実施。 利用者よりニーズの高かった「IT ツール」の活用をテーマにセミナー、及び、連続講座形式でのワークショップ(特別編含む)を開催した。※IT ツール:miro・Slack・Notion・Canva 等		
	 		
講 師	篠塚 尚明 氏(株式会社 Gns) 飯塚 良 氏(株式会社 Gns)		
開催日	①KOIN スキルアップ講座 誰でも、明日から使える IT ツール活用セミナー 9月1日(木)18:00~19:30 ②新規事業立ち上げのための IT ツール活用ワークショップ 12月2日(金)18:30~20:00 1月17日(火)18:30~20:00 2月10日(金)18:30~20:00 ③新規事業立ち上げのための IT ツール活用ワークショップ(特別編) 1月31日(火)18:30~20:00		
参加者	①26名 ②20名 ③14名		①② KOIN ③オンライン(Zoom)

■KOIN ピッチ事業

内 容	KOIN ピッチ事業として、利用者よりニーズの高かった「ノーコード」を軸とした連続講座、並びに、アイデアピッチ会を実施。「京都の抱える社会課題」をテーマに、参加者各自のビジネスモデルをノーコード開発ツールにより具現化、本プログラム最終回ではアイデアピッチ会 (DEMODAY) を実施。最優秀者には実践資金(10 万円)の提供も実施した。 ※実践資金については、協力企業:株式会社ガイアックスと折半にて支出。(知恵森:5万円)		
	 		
講 師	清水 浩司 氏(株式会社ガイアックス)		
開催日	2 月 9 日(木)18:00~21:00 2 月 16 日(木)19:00~20:30(オンライン) 2 月 24 日(金)18:00~20:00 3 月 14 日(火)18:00~21:00		
参加者	12 名(DEMODAY 参加者)		KOIN/オンライン(Zoom)

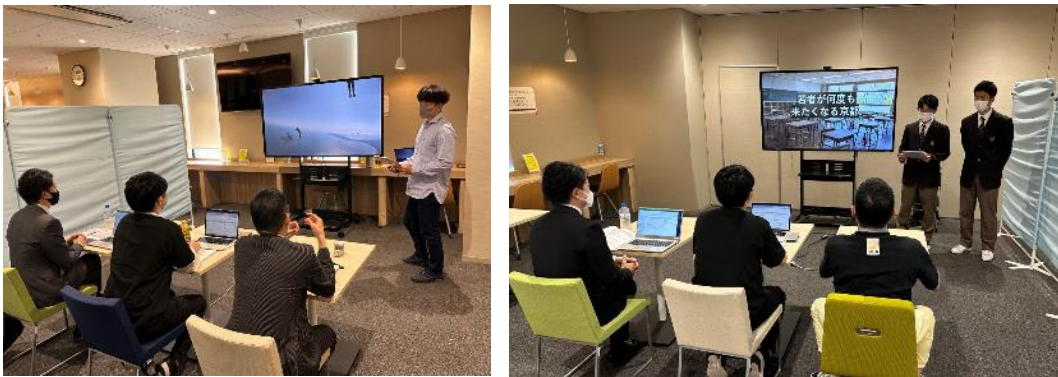
■KOIN メタバース ビジネスアイデアコンテスト プレセミナー①

内 容	京都市や ANA NEO(株)、(株)トーセが連携し、メタバース空間における京都旅行体験できるサービスを開発中であり、バーチャルトラベルの未来を拓く取組として、大きな注目を集めている。開発の総指揮を担うトーセ・齋藤会長から、同サービスの特徴や今後の展開、さらにはメタバース空間によって広がるビジネスの可能性についてお話しいただいた。		
テーマ	メタバースの可能性～これから創出されるビジネス～		
開催日	7月21日(木) 18:00~19:30		
講 師	齋藤 茂 氏(株式会社トーセ 代表取締役会長兼 CEO) ファシリテーター:竹内 弘一 氏 (キャスター・ジャーナリスト、京都先端科学技術大学 特任教授)		
参加者	45名		

■KOIN メタバース ビジネスアイデアコンテスト プレセミナー②／募集説明会

内 容	現在開発中の「メタバース空間におけるバーチャルトラベルサービス」について、実施主体となる ANA NEO 株式会社から、サービスの詳細や今後実現されていく新時代の観光の姿について解説した。あわせてコンテストの募集内容等について詳細を説明した。
テーマ	旅のメタバースから始まる ANA の新事業について
開催日	8月3日(水) 15:30~17:00
講 師	渡邊 勝 氏(ANA NEO 株式会社 取締役 COO) 伊藤 里帆 氏(ANA NEO 株式会社 スーパーバイザー)
参加者	25名

■KOIN メタバース ビジネスアイデアコンテスト

内 容	メタバース空間を活用した様々なサービスが注目される中、京都市や ANA NEO(株)、㈱トーセが連携して開発中の、メタバース空間に作られたバーチャルな京都で京都旅行を体験できるサービスを筆頭に、観光の分野でも新たな取組がスタートしつつある。 今回実施する「KOIN メタバース・ビジネスアイデアコンテスト」では、この「メタバース空間の京都を舞台としたバーチャルトラベル」において、より魅力的な体験を提供できる新しいビジネスアイデアを募集し、学生や若者の新分野におけるビジネス展開を支援した。
募集テーマ	メタバース空間の京都を舞台としたバーチャルトラベルに関するビジネスアイデア
応募対象者	メタバース分野や京都の観光振興に興味・関心のある学生、若者などの個人・グループ
募集期間	8月上旬～9月20日
応 募	13件
プレゼン 審査会	日 程 10月14日(金) 14:45～16:30／10月15日(土) 10:00～11:30 審査員 八木 輝義 氏(ANA NEO 株式会社 企画開発アシスタントマネージャー) 徳田 雅人 氏(株式会社トーセ 運営開発支援室長) 村上 公伸 氏(一般社団法人京都知恵産業創造の森 理事・事務局長) 
表 彰	<最優秀賞(賞金 10 万円)> 谷口 創太 氏(株式会社きゅうべえ) 「META RIDE KYOTO」 <優秀賞(賞金 5万円)> 岡村 亮祐 氏(株式会社ヒーロー)

	「京都の天文学に関する史跡及び現象をメタバース空間で再現、インタラクティブに観光体験する」 谷口 海輝 氏(京都産業大学) 「非現実アクティビティを楽しみ、京都観光への切符を勝ち取れ。」 藤澤 俊介 様(京都府立洛北高等学校附属中学校) 「メタバース DE 鬼ごっこダイナミックな逃走体験で、新しい京都に出会おう」 <特別奨励賞(図書カード 5,000 円分)> 今井 智紀 氏/吉田 薫 氏/鈴木 宣裕 氏(京都成章高校) 「時を翔けるバーチャル京トラベル in メタバース」 岸 京佐 氏/西 隆之介 氏(京都府立北嵯峨高校) 「ゲームで京都の魅力に触れよう」 藤澤 俊介 様(京都府立洛北高等学校附属中学校) ※優秀賞とのダブル受賞 「メタバース DE 鬼ごっこダイナミックな逃走体験で、新しい京都に出会おう」
表彰式	11月22日(火) 18:30~18:50  

③ SNS や掲示板等を活用した情報発信の強化

KOIN 利用登録者を中心とする約 1,700 件に対して、48 回にわたってメールマガジンを配信。当法人の主催事業だけでなく、他の支援機関等が実施するイベント情報等を発信した。

また SNS においては、KOIN 利用者の紹介記事を SNS で発信する企画「今日の KOIN さん」を実施し、複数回にわたり投稿した。また、ビジネス実践ラボやアクセラレータープログラム参加者の活躍情報や事業紹介を SNS に投稿し、KOIN を舞台に活躍する若手人材の取組を発信した。

④ ネットワークを活用した起業支援の充実

■KOIN アクセラレータープログラム Alumni Gathering

内 容	2019~2021 年度まで計 5 クールにわたって実施してきた「KOIN アクセラレータープログラム」の修了生を核にして、KOIN で実施してきた多様なプログラムの参加者とそれらの支援者の交流を促し、相互に支援の輪を広げるための交流会を開催した。
開催日	①6月6日(月) ②10月13日(木) ③3月9日(木)
内 容	①ボードゲームを活用したアイスブレイク 自身の活動や「想い」を共有するグループワーク 全体交流会



②卒業生の制作した「エコシステムマップ」を活用した交流

ミニピッチによる自社取組のPR

全体交流会



③オープニングトーク － 繋がりから加速する「挑戦」

－ 挑戦の軸となる大切な「My ルール」

グループトーク

自由交流(参加者・支援者とのカジュアルな交流会)



参加者

①17名 ②14名 ③38名

(2) 京都産業及び京都企業の魅力発信

若王子倶楽部 ギャラリー左右との連携により、若手起業家や学生などに対して京都の茶文化に関する情報発信イベントを実施した。(※(2)多様な主体との連携による効果的な人材育成の推進)

大垣書店との連携により、スタートアップマルシェを企画・実施した。(※(7)②KOIN マルシェ in 大垣書店)

KOINのWEBサイト、SNS、メールマガジン等を活用し、積極的に情報発信を行った。(※(7)③SNSや掲示板等を活用した情報発信の強化)

5 スマート社会の実現に関する事業

(1) スマート産業関連の生産性向上

■DXファクトリー推進人材育成事業(京都の未来をつくる「DX人材育成×産業創発」プロジェクト)

内 容	中小ものづくり事業者のDXの導入等によるエコエネルギーの推進やスマートファクトリーの構築等に向けて、①専門コーディネータによる事業者視点に立った丁寧な伴走支援、②啓発セミナーの開催(年 2 回)、③中小ものづくりDX推進アドバイザーの試行的な派遣(3社宛て)を実施した。		
実 績	・雇用創出56名(うち良質雇用15名) (2022年度目標: 雇用創出11名、うち良質雇用6名) ・セミナー等開催:2回 参加者:(延べ)331名		
	内 容	日 程	参加者数
	① オンラインセミナー「工場のスマート化に向けた取組み解説セミナー～現場改善からスマート化まで～」	令和 4年 12月 8日	41名 (オンライン)
	② オンラインセミナー「DXファクトリー解説セミナー～中小製造業におけるDXの進め方、最初の一步～」	令和 5年 3月 16日	18名 (オンライン)

■スマート社会実装化促進事業

内 容	「スマート社会」の実現を目指すため、新たなサービスや技術の開発等のイノベーションの構築に向けた取組みを行う京都企業等を対象に経費の一部を補助した。また、専門コーディネータによる採択事業者(過年度を含む)に対するフォローアップを継続実施した。
実 績	・スマート社会実装化促進事業補助金(4件 12,600千円)

■京都スマートプロダクト認定事業

内 容	京都府内の中小企業等が、自社製品等として製造の全部又は一部を行っている、エコ・省エネの取組みや、AI・IoT等を活用したスマートシティの推進に資する製品・サービスを「京都スマートプロダクト」として認定し、情報発信や販路開拓等を支援した。	
実 績	・認定:10 件(エコ関係 9 件、スマート関係4件(重複 3 件))	
	製品・サービス名	企業名
	① 化石燃料を使用せず空気分離技術を活用した「二酸化炭素回収装置」	株式会社アドバン理研
	② デジタルコルボスコープ「Q-CO(キューコ)」	株式会社エスケーエレクトロニクス
	③ 垂直設置型太陽光パネルをはめ込んだ「ソーラー手摺」	株式会社オーバル
	④ 「シェアサイクルサービスに活用可能なスマートロックシステム」	株式会社きゅうべえ
	⑤ 低差圧型ガス発生装置「BOOSTAR series」	コフロック株式会社
	⑥ パイプ・配管外側用巻付けフォールディングフイ	株式会社最上インクス

	ン「OPFF」	
	⑦ 環境負荷を低減しつつ化粧品等液滴の切れを向上させる装置「SAMy シリーズ」	株式会社魁半導体
	⑧ 再生ペットボトル繊維織物「Reperic」	有限会社フクオカ機業
	⑨ リアルタイム・双方向の添削可能な e-ラーニングツール「VMEET plus」	フリップラーニング株式会社
	⑩ 電気動力等エネルギーを使用しない厨房排気希釈減臭機器	有限会社龍雅設備
・販路開拓機能強化の手始めに、認定製品の啓発動画に当法人広報アドバイザーの竹内弘一氏を起用		

(2) 中小企業等のスマート化、省エネ・節電支援

■スマートファクトリー促進支援事業

内 容	府内中小事業者の製造現場におけるイノベーションを推進するため、エネルギー消費・生産計画等の「見える化」による改善や生産性向上を目的とした「スマートファクトリー」の導入等を支援した。
実 績	・スマートファクトリー促進支援事業補助金(3件 2,932千円)

■中小企業等への省エネ・節電・EMS診断事業

内 容	事業所や工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データの計測・分析を行い、生産性の向上に資する総合的な改善方策を提案した。また、この中で、サプライチェーンの脱炭素課に取り組もうとする京都府内企業に対して、SBT等の国際的に認知された認証等に整合した排出量削減目標や再生可能エネルギーの導入計画の策定等を支援する「サプライチェーン脱炭素化支援事業」の対象4事業者の省エネ診断も実施した。
実 績	・中小企業等への省エネ・節電・EMS診断事業 (詳細診断 25 件、うちサプライチェーン脱炭素化支援事業分 4 件)

■自立型再生可能エネルギー設備等導入補助事業

内 容	中小企業等が条例に基づく計画認定を受け、自己消費のため導入する再生可能エネルギー設備及び効率的利用設備(EMS、蓄電池)に要する経費の一部を補助することで、再生可能エネルギー、EMS及び蓄電池の導入を促進した。
実 績	・自立的地域活用型再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金 (10 件 28,273千円)

■中小企業等の省エネ・節電対策への支援

内 容	中小企業等が行う省エネ設備改修に要する経費の一部補助・委託事業を通じて、省エネ・節電による温室効果ガス排出量の削減及びクレジット創出を支援した。
-----	--

実 績	・京－VER創出促進事業補助金(15件 29,063千円) ・京都市中小事業者省エネモデル普及拡大事業(3件 2,025千円)
-----	--

(3) スマート産業に関わるネットワークの形成

京都エコ・エネ交流クラブ会員やエコ・エネルギー関連及びスマートファクトリー関連事業者とのネットワークの形成を推進した。

また、「京都産業EMS導入促進連絡会議」を運営するとともに、令和2年度に京都府内の中小企業等支援機関との情報共有・連携を強化するため新たに立ち上げた「京都スマート社会推進連携会議」の第3回会議を開催した。

<京都産業EMS導入促進連絡会議の運営>

日 程	出席団体	議 題
令和4年8月18日	京都府、京都市 (府市とも商工・環境部門両方) 京都知恵産業創造の森	・令和4年度 EMS関連補助事業に係る申請・採択状況について ・今後の京都産業EMS推進本部の活動について 等
令和4年12月20日	同上	同上

<京都スマート社会推進連携会議>

日 程	出席団体	議 題
令和5年3月1日	京都府、京都市(府市とも商工・環境部門両方) 京都商工会議所、京都府商工会連合会、京都工業会、 京都府中小企業団体中央会、京都産業21、 京都高度技術研究所、関西文化学術研究都市推進機構、 京都府テレワーク推進センター、 京都府産業廃棄物3R 支援センター、 京都府地球温暖化防止活動推進センター(※)、 経済産業省近畿経済産業局、 環境省近畿地方環境事務所、 中小企業基盤整備機構(※) ※は令和4年度から新たに参画された団体	・本会議の趣旨・目的説明 ・各機関の取組内容の共有 ・各機関との連携の可能性検討 ・名刺交換会 等

6 産学公連携の推進に関する事業

(1) 産学公連携によるオープンイノベーションの推進

■産学公連携相談窓口

京都府内企業及び大学等の産学公連携ニーズに対応するための相談窓口を設置し、企業と大学等の橋渡しを行った。

・橋渡し件数…21件

ほか、産産連携橋渡し2件、支援機関橋渡し2件

相談内容	相談元	橋渡し先
①種の商品パッケージ制作	種苗メーカー	京都精華大学
②野菜に関する出前授業プログラム開発・野菜を使った商品開発等	種苗メーカー	京都女子大学
③果実を使用した新商品開発	酒造メーカー	京都府立大学
④余剰野菜を活用した商品開発	農家	立命館大学
⑤青少年科学センターのノベルティ製作	建物総合管理事業者	龍谷大学
⑥新商品開発等のPBL授業	京都光華女子大学	おかきメーカー
⑦施設活性化等のPBL授業	京都光華女子大学	アミューズメント施設
⑧研究開発に使用する木質材料の調達	京都大学	林産品製造販売事業者・竹林保全 NPO
⑨一棟貸し町家等を活用した観光メニュー開発	宿泊施設運営事業者	同志社大学
⑩漬物を活用した新商品(スイーツ)開発	漬物製造小売業	同志社大学
⑪ドッグフードのパッケージ等開発	ドッグラン運営	同志社大学
⑫京都らしいアロマオイルの開発	化粧品小売業	京都橘大学
⑬フェムテック関連製品に関する意識調査	ライフスタイル関連商品開発販売	京都ノートルダム女子大学
⑭メタバース上での診療システム	京都大学	AR/VR ソリューション開発事業者
⑮バーチャル上の医療教育でのハプティクスデバイスの活用	京都大学	医療関連ソフトウェア開発事業者
⑯バーチャル上での映像撮影を行う上での京都の街並みの映像の利用	総合エンターテイメント企業	立命館大学
⑰メタバースを活用した学内・学外交流	京都ノートルダム女子大学	仮想空間開発運営事業者
⑱メタバースサービスの汎用化	立命館大学	MR/VR/AR メディア運営・コンサルティング等
⑲ウェルビーイングな生き方についての学生との連携	コミュニティデザイン団体	京都光華女子大学
⑳健康食品を使った新商品開発	地方創生・観光・人材教育事業者	京都ノートルダム女子大学
㉑お茶のノベルティ(メッセージカード)の色・デザインなどの心理的影響	茶商品企画販売事業者	京都府立大学

■産学連携共同研究開発事業

産学連携により、新しい社会的価値の創出に繋がる挑戦的・創造的、かつ、広く社会的課題を解決する大学等の研究成果・技術の実用化・事業化を積極的に支援するため、研究開発費を補助するとともに、中小企業診断士による事業のサポートを実施。産学公連携プラットフォーム会議で報告し、成果の共有を図った。

- ・ 助成概要
募集期間:令和4年7月11日(月)～8月25日(木)
助成金額:最大100万円
申請件数:4件
- ・ 採択事業一覧(計4件)

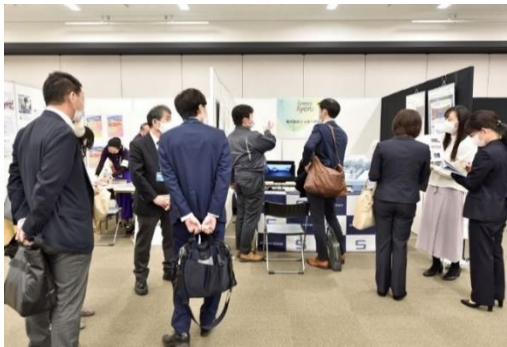
事業内容	大学等
IoT デバイス用電源を目指した低コストな熱電素子の開発	龍谷大学
社寺を活用した健康管理システムの開発	明治国際医療大学
サッカーの実況速報 AI に関する研究	京都大学
京都の中小企業におけるコアバリュー可視化推進プロジェクト	京都橘大学

- ・ 報告会
令和5年3月15日(水)産学公連携プラットフォーム会議で報告

■リバーспitch・学生pitch事業『Web3.0/メタバース勉強会・pitch事業』

内 容	Web3.0/メタバース分野について、アカデミアでの研究内容と実際の事業事例双方を学び、産学公連携やスタートアップ、ベンチャー企業等による Web3 /メタバース関連のシーズ掘り起こしから新事業創出への新たな潮流の構築を目指すための勉強会・双方向pitch等の開催 
開催日	第1回 令和4年8月29日(月)Web3.0/メタバース勉強会 Web3.0 やメタバースの解説や企業・アカデミアの動向の紹介など、Web3.0/メタバース分野について学ぶ勉強会 第2回 令和4年9月20日(火)Web3.0/メタバースしゃべり場 大学研究者・学生と企業の短いプレゼンテーション・座談会 第3回 令和4年12月13日(火)Web3.0/メタバース双方向pitch Web3.0 分野での事業展開を目指す企業や同分野の研究を行うアカデミア関係者双方からニーズ・シーズ・ビジネスアイデア等について発表するpitch会イベント
参加者	第1回 306人(リアル(KOIN)93人、オンライン213人) 第2回 45人(リアルのみ(KOIN)) 第3回 186人(めっちゃバース62人、youtube124人)

■AR/VR・メタバース・web3セミナー・展示・体験会 synergy link kyoto

内 容	XR やメタバース・Web3 について、事業者や大学関係者、学生などを対象にリアルに体験できる体験会の開催。 ・XR やメタバース・web3 関連コンテンツや大学研究の体験・展示 ・メタバース、NFT、DAO等に関するセミナー など	
開催日	令和5年3月15日(水)、16日(木)	
会 場	京都産業会館ホール	
参加者	延べ約700人	

■リエゾン勉強会

日時/テーマ/講演者	【第1回】令和4年10月19日(水)9:00～12:00 「コミュニケーションの持つ力 ～報道の現場から～」 【第2回】令和4年11月10日(木)13:30～16:30 「コミュニケーション力を磨く ～新たなアプローチを体験する～」 講演者 フリーキャスター・ジャーナリスト 竹内 弘一氏 ※第2回終了後に交流会開催(8名参加)
参加者	第1回 9名、第2回 9名

(2) 地域連携への支援

■地域連携支援事業

地域社会における様々な社会課題に対して、大学の知見及び学生の柔軟なアイデア・発想力等を活かした取組を支援することで、これらの課題解決に結びつけると共に持続可能なビジネスモデルの構築を目指すための助成の実施。産学公連携プラットフォーム会議で報告し、成果の共有を図った。

・ 助成概要

募集期間:令和4年7月4日(月)～8月19日(金)

助成金額:20万円

申請件数:7件

・ 採択事業一覧(計5件)

事業内容	大学等
多分野アート発信による地域活性化(アートイベント、参加型アートの制作展示)	京都橘大学
ミツバチラボをベースに発信する循環型社会(手作りの蜜ロウによるロウソクと廃ガラス再利用によるキャンドルホルダーの制作等)	同志社大学
柚子の里水尾の歴史と文化を継承する活性化プロジェクト	京都先端科学大学
近畿北部における行政区をまたいだ獣害対策	舞鶴工業高等専門学校

事業内容	大学等
東山手しごと活性化プロジェクト(東山区の伝統工芸に携わる職人に関する情報発信)	京都芸術大学

・ 報告会

令和5年3月15日(水)産学公連携プラットフォーム会議で報告

■学生対象PBL事業『KOINゼミ～ソーシャル・イノベーション入門～』

内 容	社会課題解決や起業に興味がある学生を対象に、ソーシャルイノベーションについて学ぶゼミ形式の講座を開催することで、ビジネスを通じて社会課題を解決することに興味のある学生を増やす。 
開催日	※講座(時間19:00～20:30) ①10月12日(水)、②10月24日(月)、③11月9日(水)、 ④12月1日(木)、⑤12月14日(水)、⑥1月16日(月)、⑦2月16日(木) ※スタディツアー 11月14日(月)@SILK オープンデイ(京都市産業技術研究所)、 11月20日(日)@船岡山公園、12月17日(土)@aeru gojo、 12月19日(月)@カタルシス
参加者	24名

■産学連携調査研究事業『伝統と革新調査研究プロジェクト』

これまで京都に蓄積されてきた伝統を基に、これからの時代に求められる新たな価値を創造するビジネスモデルについて検討する研究会を開催し、その検討結果を関連業界にフィードバックすることで業界振興の一助とする。令和4年度は三つのテーマで実施。

テーマ (参加人数)	①ポストコロナ時代の観光型商店街の経営と活性化(延べ81名) ②日本酒業界(延べ71名) ③企業の地域貢献(延べ48名)
①商店街	8/26 第1回勉強会 講演 観光客向け商店街の現状と課題 (京都府立大学 宗田名誉教授) 9/26 第2回勉強会 講演 ～after コロナ時代のデジタル化に向けて～ 小規模事業者向けDX推進セミナー はじめてのDX (グラスハパコンサルティング株式会社 代表取締役 中野雅公氏) 10/27 第3回勉強会 講演「都市インフラとの連携について」 ～京都市の取組みと活用事例 アイディアを出し合おう！～ (京都市建設局みどり政策推進室課長 葉山 和則氏) 11/25 第4回勉強会 「来訪者のこころに働きかける商店街について」 ～心理学が教える『また来たくなる商店街』の8つのルール～ (京都府立大学 生命環境学部 准教授 石川 敦雄氏) 12/16 第5回勉強会 「商店街の集客の具体的活動」 (Vita(ヴィータ)経営コンサルティング代表 岩崎 弘之氏) 1/27 第6回勉強会・交流会「勉強会を通して考えたこと」「今後の取組みたい内容」(ユニオン・エー株式会社 円城 新子氏、京都府立大学 宗田名誉教授)
②日本酒	10/25 第1回勉強会【伏見】これからのお酒の作り方 11/28 第2回勉強会【伏見】これからのお酒の売り方 11/29 第1回勉強会【伏見以外】我が家の家訓 12/20 第2回勉強会【伏見以外】地域発展のために取り組んでいること等 1/17 第3回勉強会【伏見以外】振り返り、ハンケイ京都新聞取材 1/26 第3回勉強会【伏見】振り返りと交流会
③地域貢献	9/14 第1回勉強会 参加者の取組等について共有 10/20 第2回勉強会 地域の課題について共有 11/28 第3回勉強会 地域の課題を踏まえた今後の方向性を意見交換 1/16 第4回勉強会 今後の方向性について意見交換 2/27 第5回勉強会 次年度の取組について(今年度振り返りと交流会)

(3) 経済団体との連携による情報交換、情報発信

■産学公連携プラットフォーム会議

・第1回 令和4年6月30日(木)

内 容	・産学公連携推進部事業報告 ・講演及び交流会 【講師】京都精華大学国際文化学部グローバルスタディーズ学科准教授 共通教育機構 社会実践力育成プログラム部門長 南 了太氏 【演題】「産官学連携のいま～人文社会系分野の知の活用の観点から～」
参加者数	44名

・第2回 令和5年3月15日(水)

内 容	・産学公連携共同研究開発事業及び地域連携支援事業報告会 ・令和5年度事業概要説明(京都府、京都市、京都知恵産業創造の森) ・AR/VR・メタバース・web3セミナー・展示・体験会見学ツアー
参加者数	41名

■情報発信

メールマガジンやSNSにより、主催事業や参画団体の事業等その他産学公連携に有用かつタイムリーな情報について発信を行った。

(【令和5年3月末時点】メルマガ会員数約 500 人・週1回発信、SNS(Facebook)フォロワー約 435 人・随時発信)

■参画大学との共催・連携事業

産学連携支援事業(共催)	
京都市立芸術大学 「イブニングテラス」	・第1回 11月2日(水)18:00～19:30 講演者 京都市立芸術大学学長 赤松玉女 氏 テーマ 京都市立芸術大学のキャンパス移転—アートが育てる想像と創造の力— 参加者 79名 ・第2回 2月6日(月)18:00～19:30 講演者 トヨタ自動車株式会社社会貢献推進部長 布垣直昭 氏 京都市立芸術大学学長 赤松玉女 氏(対談) テーマ 社会価値を高める企業と芸術 参加者 52名
京都大学 学術情報 メディアセンター 「Fintech が導く社会像」	日 時 12月22日(木)18:00～20:30 登壇者 京都大学 学術情報メディアセンター教授 首藤 一幸 氏 株式会社メルペイ取締役 CISO 曾川 景介 氏 日本銀行 決済機構局決済システム課 フィンテックグループ長 企画役 鳩貝 淳一郎 氏 参加者 106名(現地7名、ライブ配信視聴99名)

7 スタートアップの創出及び成長支援の推進

(1) スタートアップ・エコシステムの充実

① スタートアップの創出に向けた支援

スタートアップが創業時に必要な知識を学ぶ Kyoto Startup Challenge セミナーの開催、弁護士・公認会計士による専門家相談やベンチャーキャピタルによる壁打ちによる創業前後の様々な課題への対応、グローバルな展開を目指す大学発スタートアップの創業に向けたマッチングイベントの開催、小中学生や高専生等を対象としたアントレプレナーシップ啓発プログラムやセミナーの開催により、スタートアップが創業しやすい環境の整備に取り組んだ。

■Kyoto Startup Challenge セミナー

内 容	スタートアップとして創業するのに必要な知識を体系的に学ぶセミナー 次の4つのテーマを1クールとし、年間3クール開催 ①スタートアップやベンチャーキャピタルとは ②アイデアのを見つけ方とその評価 ③創業初期における仲間の見つけ方 ④スタートアップにおけるファイナンス 対象者:京都で創業を目指す者やプレシードやシード期のスタートアップ 等 場所:KOIN その他:全テーマ受講した者には特定創業支援事業として認定																																													
共催(協力)	yasu 株式会社																																													
実施日 参加者	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>実施日</th><th>講師 VC</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">第1 クール</td><td>4月22日</td><td>mint</td><td>22名</td></tr> <tr> <td>5月20日</td><td>W Ventures</td><td>12名</td></tr> <tr> <td>6月17日</td><td>千葉道場ファンド</td><td>15名</td></tr> <tr> <td>7月22日</td><td>Primal Capital</td><td>10名</td></tr> <tr> <td rowspan="4">第2 クール</td><td>8月19日</td><td>DG ベンチャーズ</td><td>13名</td></tr> <tr> <td>9月22日</td><td>Headline Asia</td><td>10名</td></tr> <tr> <td>10月21日</td><td>W Ventures</td><td>14名</td></tr> <tr> <td>11月18日</td><td>サイバーエージェントキャピタル</td><td>16名</td></tr> <tr> <td rowspan="4">第3 クール</td><td>12月16日</td><td>East Ventures</td><td>6名</td></tr> <tr> <td>1月20日</td><td>New Commerce Ventures</td><td>8名</td></tr> <tr> <td>2月17日</td><td>iFund</td><td>5名</td></tr> <tr> <td>3月17日</td><td>オリックス・キャピタル</td><td>8名</td></tr> </tbody> </table> 総延参加者数 139名 (内 学生 18名) 特定創業支援事業認定対象者数 9名  				実施日	講師 VC	参加者数	第1 クール	4月22日	mint	22名	5月20日	W Ventures	12名	6月17日	千葉道場ファンド	15名	7月22日	Primal Capital	10名	第2 クール	8月19日	DG ベンチャーズ	13名	9月22日	Headline Asia	10名	10月21日	W Ventures	14名	11月18日	サイバーエージェントキャピタル	16名	第3 クール	12月16日	East Ventures	6名	1月20日	New Commerce Ventures	8名	2月17日	iFund	5名	3月17日	オリックス・キャピタル	8名
	実施日	講師 VC	参加者数																																											
第1 クール	4月22日	mint	22名																																											
	5月20日	W Ventures	12名																																											
	6月17日	千葉道場ファンド	15名																																											
	7月22日	Primal Capital	10名																																											
第2 クール	8月19日	DG ベンチャーズ	13名																																											
	9月22日	Headline Asia	10名																																											
	10月21日	W Ventures	14名																																											
	11月18日	サイバーエージェントキャピタル	16名																																											
第3 クール	12月16日	East Ventures	6名																																											
	1月20日	New Commerce Ventures	8名																																											
	2月17日	iFund	5名																																											
	3月17日	オリックス・キャピタル	8名																																											

■VC 壁打ち、VC デスクによる相談対応

内 容	ビジネスアイデアや資金調達などスタートアップとして創業や事業を実施する上での課題について、首都圏及び京都のVC 担当者が対応 対象者：京都で創業を目指している者及びプレシード・シード期のスタートアップ 場所：京都経済センター会議室及びKOIN		
共催(協力)	VC デスク(協力VC)： 京銀リース・キャピタル、京信ソーシャルキャピタル、中信ベンチャーキャピタル、栖峰投資ワークス、フューチャーベンチャーキャピタル、XTech Ventures、ライフタイムベンチャーズ		
実施日 参加者	VC 壁打ち：毎月最終金曜日の午後に実施		
	実施日	対応VC	参加者数
	4/28	East Ventures、マネックスベンチャーズ	7名
	5/27	ミレイズ、ifund	7名
	6/24	ミナミインキュベート、Esat Ventures	3名
	7/29	Digital Base Capital、mint	4名
	8/26	Yazawa Ventures、デライト・ベンチャーズ	6 名
	9/30	グロービス・キャピタル・パートナーズ、Fundinno	8 名
	10/28	デライトベンチャーズ、丸紅ベンチャーズ	6名
	11/25	マネックスベンチャーズ、F Ventures	6名
	12/23	ポーラ・オルビスキャピタル、ANOBACA	7名
	1/27	HIRAC FUND、サイバーエージェント・キャピタル	5 名
	2/24	New Commerce Ventures、WiL	5 名
	3/24	WiL、アニマルスピリッツ	8 名
	合計		72 名
	VC デスク：毎月第1、第2金曜日の午後に開催		
	実施日	対応VC	参加者数
	7/1,8	フューチャーベンチャーキャピタル、栖峰投資ワークス、 中信ベンチャーキャピタル、京銀リースキャピタル	4名
	8/5	ライフタイムベンチャーズ	2名
	9/2,9	京銀リースキャピタル、フューチャーベンチャーキャピタル、 京信ソーシャルキャピタル、クロステックベンチャーズ	2名
	10/7,14	栖峰投資ワークス、京信ソーシャルキャピタル、 中信ベンチャーキャピタル	5名
	11/4,11	京銀リースキャピタル、フューチャーベンチャーキャピタル、 クロステックベンチャーズ、栖峰投資ワークス	1名
	12/2,9	クロステックベンチャーズ、栖峰投資ワークス、 京信ソーシャルキャピタル	6名
	1/6, 13	中信ベンチャーキャピタル、フューチャーベンチャーキャピタル、 クロステックベンチャーズ、京銀リースキャピタル	1 名
	2/3,10	栖峰投資ワークス、京銀リースキャピタル、 中信ベンチャーキャピタル	4 名
	3/3,10	栖峰投資ワークス、フューチャーベンチャーキャピタル、 京銀リースキャピタル、クロステックベンチャーズ	2 名
	合計		27 名

主な相談内容	・ビジネスアイデアに対するフィードバック ・シリーズAに向けて戦略上、注意すべきこと ・事業拡大の経営方針について ・事業会社からの資金調達や協業について ・VC向け資金調達の資料の見せ方等 ・ユーザーの課題に対する仮説について ・エンジェル投資家からの出資について ・VC が投資を検討するにあたって、欠けている点 ・スケール戦略について ・シード調達時のバリュエーションの考え方について 
---------------	---

■弁護士、公認会計士による専門家相談

内 容	スタートアップ特有の課題に対し、スタートアップ支援に実績のある弁護士及び公認会計士による相談対応 対象者：京都で創業を目指している者及びプレシード・シード期のスタートアップ 場所：京都経済センター会議室			
共催(協力)	弁護士：TMI法律総合事務所京都事務所 公認会計士：北條公認会計士・税理士事務所			
実施日 参加者	弁護士への相談		公認会計士への相談	
	相談日	相談者数	相談日	相談者数
	4/27	1 名	4/4	1 名
	6/22	1 名	12/20	1 名
	8/8	1 名	3/14	1 名
	9/1	1 名		
	9/8	1 名		
	10/4	1 名		
	10/7	1 名		
主な相談 内容	弁護士 :アプリを公開するにあたっての利用規約の作成やプライバシーポリシーについて 著作権法の考え方や著作権を侵害する場合の運営側に求められる対応について 個人情報保護及び利用規約の注意点について 米国でのテストユーザーの過失責任に係る同意サインの取扱い等について 公認会計士:資金調達に関する事業計画について 投資家から求められる P/L の数値の立て方について			

■共創イノベーション in 京都経済センター Presented by KSAC

内 容	起業、事業化を目指す関西の研究者と経営人材、事業会社及び VC とのマッチングを促進 対象者:登壇者 関西の大学研究者 8 名 場所:京都経済センター 京都産業会館ホール 内容:関西の研究者8名による研究シーズのプレゼンテーション及び個別マッチング	
共催(協力)	京都大学イノベーションキャピタル(株)、大阪イノベーションハブ	
実施日	1月20日(金)13:00~17:00	
	登壇者	研究テーマ
	京都大学 准教授 韓 立友	γ-グルタミルトランスペプチダーゼ(GGT、γ-GTP)をターゲットにした難治性喘息の新規治療薬の開発
	兵庫県立大学大学院 准教授 岡 好浩	キャビテーションプラズマ殺菌水による植物病害菌防除技術の開発
	関西大学 教授 田實 佳郎	圧電組紐で新しいコミュニケーション体験の創生 YUWAERU™/圧電繊維を活用したプロダクトおよびサービス 開発による新しい体験提案
	同志社大学 教授 北岸 宏亮	火災現場などにおいて即使用できるガス中毒治療薬の開発
	大阪公立大学 教授 酒井 英樹	複雑形状物の色彩・光沢・再帰反射の同時非接触測色システムの開発
	兵庫県立大学大学院 准教授 鈴木 雅登	細胞の回転でわかるラベルフリーな電気特性評価装置
	大阪公立大学大学院 教授 真嶋 由貴恵	自己学習でもちゃんと身につく看護技術トレーニングシステム
	京都府立医科大学 講師 内藤 泰行	介護者の手を煩わせない 尿失禁・夜尿症治療器の開発
参加者	参加者数:会場参加 40 名、開催日オンライン視聴 38 名、YouTube 視聴回数 315 回 登壇者への面談等の希望 6 件	
	 	

■NEXT PIONEER 2022 Vol.02 挑戦する次代の研究者たち KSAC MATCHING DAY

内 容	令和3年度KSAC起業活動支援プログラム採択された優れた京阪神の研究シーズと事業会社、VCとのマッチングを促進 対象者：令和3年度KSAC起業活動支援プログラム採択者12名 場所：京都経済センター KOIN及び3階会議室 内容：研究シーズのプレゼンテーション及び個別マッチング	
共催(協力)	公益財団法人大阪産業局、Forbes JAPAN/Forbes JAPAN SMALL GIANTS	
実施日	2月28日(火) 13:00~18:00	
	参加研究者	研究テーマ
	京都大学工学研究科 准教授 松田 知成	抗体配列進化追跡法を用いた抗体創薬プラットフォームの構築 一新興感染症抗体開発のPOC
	京都大学工学研究科 博士後期課程 清瀬 俊	シリコンの三次元微細構造を利用したアルカリ金属ガス封入セルの実用化検証
	京都大学消化管外科 大学院生 谷 亮太郎	人工肛門患者の社会復帰を促す、高機能排便制御デバイスの開発
	大阪公立大学大学院工学研究科 講師 今津 篤志	視覚障がい者向け車輪付きガイドナビの機構改良と多対多の遠隔見守りシステムの開発
	大阪公立大学電子物理工学科 教授 竹井 邦晴	熱中症早期検知デバイスのPOC 創出に向けたシステム開発加速とバイタルデータ実計測
	大阪公立大学大学院工学研究科 客員研究員 西井 成樹	ナノ光アンテナを利用した微生物迅速検査の実用化加速
	大阪公立大学工学研究科 教授 東 雅之	有価金属や有害金属の除去・回収を可能とする低環境負荷型高性能生物吸着材料の開発
	関西大学システム理工学部 教授 鈴木 昌人	蚊のバイオミメティクスによる無痛針穿刺と微細血管認識とを融合した自動注射システム
	関西大学システム理工学部 教授 小金沢 新治	橋梁の構造健全性診断および生産設備の故障診断のための自立型振動センサの開発
	兵庫県立大学大学院理学研究科 准教授 菓子野 康浩 京都大学大学院農学研究科 教授 伊福 健太郎	持続可能社会実現のための珪藻の大量生産と販売
	関西学院大学工学部 教授 山本 倫也	ビッグデータ駆動型眼球運動トレーニング社会の実現に向けたコンテンツ・プロトタイプ開発
	関西学院大学 感性価値創造インスティテュート 特任教授 渋谷 一夫	心理統計にもとづく対象ごとの感性価値指標を活用した感性評価サービスの開発
参加者	参加者数：会場参加43名、開催日オンライン視聴77名、YouTube 視聴回数 275回 登壇者への面談等の希望 28件	
		

■インキュベーションプログラム「KYOTO LAUNCH SITE」

内 容	スタートアップの創業を目指す者を対象に、「学び:インプット」を「実践(試作・検証):アウトプット」に変換するインキュベーションプログラムを実施 場所:KOIN及びオンライン開催
共催(協力)	フォースタートアップス株式会社
実施日	◇学び:インプット 7月12日、7月19日、7月26日 内容:人材・組織、資金調達及び機会(チャンス)をテーマに3回の講座を開催 ◇実践(試作・検証):アウトプット 8月～10月 試作内容:IT関連サービスによるノーコードでのアウトプットをサポート テーマ:「MVP(Minimum Viable Product)の方向性」 「ノーコード学習とプロダクト開発」 検証内容:受講者が作成したPOC計画の作成支援 試作アイデアのPOC結果の発表会を実施 ◇DEMO DAY 11月1日 ＜審査員＞ 牧野 成将 氏 / (株)Monozukuri Ventures CEO 千 ダビデ 氏 / 栖峰投資ワークス(株) プリンシパル 大久保 迅太 氏 / Plug and Play Japan(株) Program Manager 清水 和彦 氏 / フォースタートアップス(株) 取締役 兼 アクセラレーション本部長
参加者	学び:インプット 延 50 名 実践:アウトプット 10 名

■起業家精神育成ワークショップ「Biz World in 京都」Presented by KSAC

内 容	アントレプレナーシップに関する基礎的な内容を分かりやすく学ぶ 対象者:小学5年生～中学3年生 場所:京都経済センターKOIN 内容:起業家教育プログラム 「ビジネスの基礎を学ぶ」、「会社を作ろう、投資家に発表してみよう」、 「試作品を作ろう」、「銀行からお金を借りよう、商品を作ろう！」
共催(協力)	後援:京都府教育委員会、京都市教育委員会
実施日	7月31日(日)10:00～17:00 ◇プログラム 「ビジネスの基礎を学ぶ」、「会社を作ろう、投資家に発表してみよう」、「試作品を作ろう」、「銀行からお金を借りよう、商品を作ろう!」、「発表しよう、振り返ってみよう」 
参加者	18名(申込者数 24名) 内訳:小学5年生 7名、小学6年生 3名、中学1年生 5名、中学3年生 3名

■KOSEN BIZ トレ Presented by KSAC

内 容	高専生がスタートアップに関心を示し、自身が持つスキルを起業という形で活用できる可能性を周知し、起業を促すアントレプレナーシッププログラム 対象者:国立舞鶴、国立明石、大阪公立、神戸市立高専の学生 場所:京都経済センターKOIN及びオンライン実施 内容:高専生が持つスキルを活かした課題解決の発想と試作及び成果発表のプログラム				
共催(協力)	KDDI				
実施日	・ビジネスについて学ぶ座学 9月7日～10日 <table border="1"> <tr> <td>9月7日 Guest Speaker</td><td> ・ユニコンファーム代表取締役 田所 雅之 氏 ・さくらインターネット代表取締役社長 田中 邦裕 氏 ・KDDI経営戦略本部副本部長 江幡 智広 氏 </td></tr> <tr> <td>9月10日 Guest Speaker</td><td> ・京都大学産官学連携本部特定教授 木谷 哲夫 氏 </td></tr> </table> ・フィールドワーク、試作品の作成及びメンタリング   技術アドバイスの様子(Aチーム) 技術アドバイスの様子(Bチーム) ・実証、発表 12月10日 <最終発表会> 学生(4チーム)の発表 Aチーム:塾のアルバイトシフト管理アプリ、Bチーム:スマートゴミ箱 Cチーム:安全を守る光る球体デバイス、Dチーム:高齢者の孤独解消アプリ 審査員 ■牧野 成将氏(MZV CEO) ■江幡 智広氏(KDDI 経営戦略本部 副本部長) ■山田 大典氏((株)Michele 代表取締役) ■木谷 哲夫氏(京都大学 産学連携本部 特定教授)    開会時の様子 発表中の様子(Aチーム) 発表中の様子(Bチーム)    発表中の様子(Cチーム) 発表中の様子(Dチーム) 全体集合写真	9月7日 Guest Speaker	・ユニコンファーム代表取締役 田所 雅之 氏 ・さくらインターネット代表取締役社長 田中 邦裕 氏 ・KDDI経営戦略本部副本部長 江幡 智広 氏	9月10日 Guest Speaker	・京都大学産官学連携本部特定教授 木谷 哲夫 氏
9月7日 Guest Speaker	・ユニコンファーム代表取締役 田所 雅之 氏 ・さくらインターネット代表取締役社長 田中 邦裕 氏 ・KDDI経営戦略本部副本部長 江幡 智広 氏				
9月10日 Guest Speaker	・京都大学産官学連携本部特定教授 木谷 哲夫 氏				
参加者	参加者数 12名 内訳:神戸高専 7名、舞鶴高専 3名、明石高専 1名、大阪府立高専 1名 ※参加者のうち、1名が起業を予定				

■Founders Story ～十人十色のアントレプレナーシップ～ Presented by KSAC

内 容	起業まで異なるルートを辿った起業家のパネルディスカッション等を通して、起業に至った経緯など、様々な立場の起業家から「考え方」や「働き方への姿勢」を読み解き、アントレプレナーシップの重要性を伝え、起業への複数の道筋を示す。 対象者：大学生、高校生、左記の保護者世代 場所：京都経済センター 京都産業会館北ホール 内容：起業家 3 名によるスピーチとパネルディスカッション
共催(協力)	QUINTBRIDGE
実施日	2月26日(日)10:00～12:00 プログラム ◇起業家 3 名の発表 ①志賀 遥菜 氏(兼業起業) ・P&G ジャパン合同会社 社員、株式会社 BeLiebe 代表取締役 ②谷 美那子 氏(社内起業) ・京セラ株式会社 社員、matoil (マトイル) 代表 ③大木 和典 氏(独立起業) ・muiLab 株式会社 代表取締役 (NISSHA 株式会社から独立) ◇パネルディスカッション パネラー 上記起業家 3 名 モデレーター 及部 一堯 氏 (NTT 西日本イノベーション戦略室) 
参加者	会場参加 40 名 内訳：大学生 14 名、中高生 9 名、保護者等 17 名

■Kyoto Innovation Base

内 容	先輩起業家が起業家を生み育てる環境を京都で実現 対象者：成長意欲がある京都府内の若手ベンチャー経営者 場所：京都経済センター会議室 内容：先輩ベンチャー経営者による若手ベンチャー経営者へのメンタリング、若手ベンチャー経営者同士のコミュニティ形成																										
共催(協力)	EO Kyoto、京都商工会議所、株式会社京都銀行																										
実施日	第1期 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th><th>講師：先輩起業家</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/28</td><td>(株)MEJ 古賀 徹 代表取締役</td></tr> <tr> <td>5/19</td><td>(株)サーキュレーション 久保田 雅俊 代表取締役</td></tr> <tr> <td>6/16</td><td>(株)メディアドゥ 藤田 恭嗣 代表取締役</td></tr> <tr> <td>7/21</td><td>デコボコベース(株) 上 岳史 代表取締役</td></tr> </tbody> </table> 第2期 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th><th>講師：先輩起業家</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/8</td><td>(株)ファインドスター 内藤 真一郎 代表取締役</td></tr> <tr> <td>10/13</td><td>(株)フィックスターズ 三木 聡 代表取締役</td></tr> <tr> <td>11/10</td><td>バリューマネジメント(株) 他力野 淳 代表取締役社長</td></tr> <tr> <td>12/15</td><td>(株)寺田倉庫 寺田 航平 代表取締役</td></tr> <tr> <td>1/12</td><td>(株)GRCS 佐々木 慈和 代表取締役</td></tr> <tr> <td>2/9</td><td>スターティア(株) 本郷 秀之 代表取締役</td></tr> <tr> <td>3/9</td><td>(株)ラバーブルマーケティンググループ 林 雅之 代表取締役</td></tr> </tbody> </table>	実施日	講師：先輩起業家	4/28	(株)MEJ 古賀 徹 代表取締役	5/19	(株)サーキュレーション 久保田 雅俊 代表取締役	6/16	(株)メディアドゥ 藤田 恭嗣 代表取締役	7/21	デコボコベース(株) 上 岳史 代表取締役	実施日	講師：先輩起業家	9/8	(株)ファインドスター 内藤 真一郎 代表取締役	10/13	(株)フィックスターズ 三木 聡 代表取締役	11/10	バリューマネジメント(株) 他力野 淳 代表取締役社長	12/15	(株)寺田倉庫 寺田 航平 代表取締役	1/12	(株)GRCS 佐々木 慈和 代表取締役	2/9	スターティア(株) 本郷 秀之 代表取締役	3/9	(株)ラバーブルマーケティンググループ 林 雅之 代表取締役
実施日	講師：先輩起業家																										
4/28	(株)MEJ 古賀 徹 代表取締役																										
5/19	(株)サーキュレーション 久保田 雅俊 代表取締役																										
6/16	(株)メディアドゥ 藤田 恭嗣 代表取締役																										
7/21	デコボコベース(株) 上 岳史 代表取締役																										
実施日	講師：先輩起業家																										
9/8	(株)ファインドスター 内藤 真一郎 代表取締役																										
10/13	(株)フィックスターズ 三木 聡 代表取締役																										
11/10	バリューマネジメント(株) 他力野 淳 代表取締役社長																										
12/15	(株)寺田倉庫 寺田 航平 代表取締役																										
1/12	(株)GRCS 佐々木 慈和 代表取締役																										
2/9	スターティア(株) 本郷 秀之 代表取締役																										
3/9	(株)ラバーブルマーケティンググループ 林 雅之 代表取締役																										
参加者	第1期 14 名、第2期 20 名 固定メンバー																										

② スタートアップの成長ステージに即した支援

アクセラレーションプログラム、成長ステージにおける課題解決に繋がるセミナー、資金調達や協業を目的とするピッチ等を開催した。

■内閣府実施 アクセラレーションプログラムへの参画

内 容	海外アクセラレーターと提携し、2つのコース、6つの分野編成にて個々のスタートアップのニーズに合ったアクセラレーションプログラムを開催		
	コース	分野	担当アクセラレーター
	Global Scale	全分野	Techstars
	EnterpriseBusiness (B2B)	B2B/B2B2C	AlchemistX
	Bio/Healthcare	ヘルスケア	CIC
	DeepTech (IoT/Robotics/Mobility/ Cleantech and others)	大学発・ディープテック	Berkeley SkyDeck
参加企業	Global Preparation	全分野	Plug and Play Japan
	コース	スタートアップ企業	
	Bio/Healthcare	リバーセル株式会社	
	DeepTech (IoT/Robotics/Mobility/ Cleantech and others)	メトロウェザー株式会社	
	Global Preparation	株式会社 Space Power Technologies	
		株式会社ソフトマターシミュレーションズ	
		株式会社魁半導体	

■Kyoto Startup X

内 容	京都に拠点を置くアーリーからレイターまで様々な分野で誕生している社会起業家や、次世代のエネルギーテック系スタートアップの発信により、京都スタートアップエコシステムのブランド戦略の促進。場所:KOIN又はオンライン開催		
共催(協力)	Route X		
実施日	①社会起業家の紹介 5月24日 KOIN開催		
	キートセッション	京都信用金庫 理事長	榊田 隆之 氏
	スタートアップ ピッチ	Rennovater 株式会社 代表取締役	松本 知之 氏
		一般社団法人 CHIE-NO-WA 代表理事	福田 千恵子 氏
		株式会社エンリッジョン 代表取締役	柿本 優祐 氏
	司会	RouteX 株式会社 COO	塚尾 昌浩 氏
	②エネルギーテック系スタートアップの紹介 8月4日 オンライン開催		
	キートセッション	株式会社 NTT ドコモ・ベンチャーズ	加納 出亜 氏
	スタートアップ ピッチ	AC Biode 代表取締役	久保 直嗣 氏
		Space Power Technologies 代表取締役	古川 実 氏
		フォロフライ COO	中尾 源 氏
	司会	RouteX 株式会社 COO	塚尾 昌浩 氏
	モデレーター	NTT ドコモベンチャーズ インキュベーションマネージャー	加納 出亜 氏
参加者	①5月24日 社会起業家 参加者数: 98名:会場 47名、オンライン 51名 ②8月4日 エネルギーテック 参加者数: 121名(オンライン)		

■Startup Monthly Discussion

内 容	先輩起業家とのパネルディスカッションや交流を通して、創業に対するハードルを下げ、創業しやすい環境を整備 対象:京都で創業を目指す者やプレシードやシード期のスタートアップ 等 場所:KOIN 形態:オフライン及びオンラインのハイブリッド開催		
共催(協力)	京都府、株式会社 VMK		
実施日 参加者	実施日	登壇者	参加者数
	4/20	(株)RE-SOCIAL 笠井 大輝 氏	9 人(480回)
	5/18	(株)ランプ 河野 匠 氏	11 人(294回)
	6/15	(株)アカイノロシ 矢野 龍平 氏	14 人(169 回)
	7/20	(一社)CHIE-NO-WA 福田 千恵子 氏	9 人(483 回)
	8/17	(株)LifeCoach 加藤 恵多 氏	8 人(161 回)
	9/21	(株)KUOE GLOBAL 内村 健二 氏	5 人(138 回)
	10/19	(株)dTosh 平尾 俊貴 氏	8 人(65 回)
	11/16	EVER(株) 土屋 耕喜 氏	614 回
	12/21	株式会社 Clew 西本 統氏	76 回
	1/18	ArchiTeck 株式会社 伊藤 拓也 氏	501 回
	2/15	OoO 株式会社 岡田 華蓮 氏	313 回
	3/15	Deep Forest Technologies 大西 信徳 氏	
	合 計		64 名(3,561 回)
※回数:Twitter 視聴回数 ※11 月からライブ配信のみに変更			
			

■スタートアップ・アライアンス・リンク

内 容	首都圏を主とする大企業や投資家等に対して、京阪神のスタートアップとのマッチングの機会を創出 (オンライン開催)
共催(協力)	京都府、イシン株式会社
実施日	①7 月 26 日(火) 分野:カーボンニュートラル 登壇スタートアップ 7 社 FOSFIA、イーセップ、Symbiobe、DeepForest Technologies、Bioworks、E サーモジェンテック、Atomis ②9 月 29 日(木) 分野:スマートシティ 登壇スタートアップ 6 社 ファンフォ、シュルード設計、Clew、ネオモビ、アドインテ、ミツフジ ③2 月 14 日(火) 分野:エネルギー・クリーンテック 登壇スタートアップ 7 社 OOYOO(京都)、サンリット(京都)、ペホマル(京都)、Innovare(大阪)、マイクロバイオファクトリー(大阪)、コールドストレージ(神戸)、ZESST(神戸)
参加者	①7 月 26 日 参加者数 188 人、マッチング要望数 133 件 ②9 月 29 日 参加者数 137 人、マッチング要望数 57 件 ③2 月 14 日 参加者数 137 人、マッチング要望数 87 件

■Born Global Startup になるには ～シリコンバレー駐在弁護士の視点～

内 容	VC やスタートアップが集まるシリコンバレーの投資実務を国内の投資実務と比較し、違いや注意点を解説することで、海外 VC からの資金調達に対するハードルを下げ、海外展開を後押し 場所:京都経済センター 3-F会議室 講師:竹内 信紀 弁護士 TMI 総合法律事務所 シリコンバレーオフ 林 雄亮 弁護士 TMI 総合法律事務所 京都オフィス
共催(協力)	TMI総合法律事務所京都オフィス、京阪神スタートアップエコシステムコンソーシアム、ジェトロ大阪・神戸・京都
実施日	7月19日(火)18:00～19:30
参加者	・会場参加 10名 オンライン参加 37名 ・弁護士との事後相談希望:4社

■女性経営者コミュニティの形成「サロン・ド こまち」

内 容	起業した女性や起業を目指す女性を対象に、経営者の課題や悩み及び成功体験などについて、同様の課題を持つ女性経営者間で共有することで、お互いが成長できるコミュニティの形成 場所:KOIN 内容:パネルディスカッション、参加者間のネットワーキング
共催(協力)	京都府、日本政策金融公庫
実施日	①第1回 12月23日(金)19:00～20:30 パネルディスカッション 京都サンダー株式会社 代表取締役 新井 恭子 氏 結税理士法人 代表社員 伊藤 弥生 氏 ②第2回 3月8日(水) 18:30～20:30 パネルディスカッション 株式会社 CAELUM「zaramé」代表 能勢 雅子 氏 結税理士法人 代表社員 伊藤 弥生 氏
参加者	①第1回 16名、②第2回 9名

■PR TIMESとの連携事業

内 容	スタートアップの成長を促進するため、特に創業間もないスタートアップを対象にPR戦略の重要性を学ぶセミナーを実施 場所:京都経済センター 3-F 会議室 テーマ:基礎からわかるスタートアップ発プレスリリース
共催(協力)	(株)PR TIMES
実施日	9月14日(水)18:30～20:00
参加者	16名

■スタートアップの資金調達勉強会兼交流会

内 容	シードまたはシリーズAの資金調達をした起業家(ディープテック除く)が集い、自社の経験や知見をシェアする交流会(招待制)を開催 場所:京都経済センター 3-F 会議室
実施日	①第1回 1月20日(金) 18:30~20:00 講 師:リージョナルフィッシュ ②第2回 3月28日(火) 講 師:Baseconnect
参加者	①第1回 6名、②第2回 5名

■Mashups in Kyoto

内 容	京阪神が有する強み①グローバルネットワーク、②ライフサイエンス領域を伸ばし、グローバルハブとしての発展を目指す 場所:engawa Kyoto テーマ:世界で注目される関西のスタートアップ「関西のSU原石を世界へ発信」
共催(協力)	ジェトロ京都、大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム
実施日	2月7日(火) 第一部 kansai startup mashups の説明 第二部 J-startup KANSAI 採択企業による英語ピッチ(京阪神から1社ずつ登壇) J-startup KANSAI の説明:近経局職員 登壇企業 京都:イーセップ、大阪:大阪ヒートクール、神戸:ナティアス 第三部 外部のVCや支援機関に関西の魅力をプレゼン、パネルディスカッション スタートアップゲノム社 ディレクター アダム氏 元世界銀行 上級民間セクター専門官 Victor Mulas ※ファシリテーター:MZV 牧野氏
参加者	会場参加 60名、オンライン参加 143名

③ スタートアップに関する情報を発信

様々な媒体を活用し、京都のスタートアップ及びエコシステムの魅力を国内外に発信した。

■経済誌「Forbes」と連携したPR

Forbesとのタイアップにより、首都圏の事業会社や投資家等に対して、大学発スタートアップの創出に関する取り組みをPR Forbes 冊子誌面及びWEB記事への掲載

Forbes 起業家特集号



未来を変える可能性に満ちた、京阪神エリアの大学発・イノベティブな 6 つの研究シーズ



<https://forbesjapan.com/articles/detail/52190>

「京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)が大学発シーズの事業化を強力バックアップ」

<https://forbesjapan.com/articles/detail/52195>

「未来を変える可能性に満ちた、京阪神エリアの大学発・イノベティブな 6 つの研究シーズ」

■AWS(Amazon Web Services)、CANVA との連携

内 容	連携内容 ◇AWS(Amazon Web Services) 対象スタートアップのクラウド利用料など、経費軽減及び以下のサービスが利用可能 ・AWS クーポン: \$5,000/2 年(50 万円程度 AWS を現状利用・未利用どちらでも可) ・技術サポート:クラウドサポートエンジニアによるメール、チャット、電話でのサポート ・個別技術メンタリング:技術相談、構成レビュー、他社事例紹介、カジュアルな相談も可 ※対象スタートアップ ・創業 10 年未満且つ資金調達シリーズ A まで(未調達含む)の法人登記済 ・自社のプロダクトを有する(受託開発、コンサル事業などは除く) ・有効な会社のウェブサイトが開設されている ・アクティブなAWSのアカウントを有すること ◇CANVA スタートアップ1社につき1回、Pro 会員の1年間無料クーポンを付与 ・デザイナーなどの人材が不足していても質の高い広報デザインが可能 ・希望スタートアップ 44 社に付与
-----	--



(2) 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営

京都のスタートアップ・エコシステムの現状共有及び個別課題の協議を実施した。

■京都スタートアップ・エコシステム推進協議会への新たな参画団体

参画団体	京都府立大学、龍谷大学、京都女子大学、京都精華大学、京都工芸繊維大学
------	------------------------------------

■京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の開催

日 程	出席団体	議 題
令和4年9月5日 オンライン実施	京都商工会議所、京都経営者協会、京都経済同友会、京都工業会、京都府商工会連合会、京都府中小企業技術センター、京都産業21、京都市産業技術研究所、京都高度技術研究所、関西文化学術研究都市推進機構、国際電気通信基礎技術研究所、量子科学技術研究開発機構関西光科学研究所、日本貿易振興機構(ジェトロ)京都貿易情報センター、理化学研究所、情報通信研究機構、京都リサーチパーク株式会社、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社、株式会社 Monozukuri Ventures、Plug and Play Japan 株式会社、株式会社フェニクシー京都大学、京都府立大学、同志社大学、立命館、龍谷大学 Ryukoku Extension Center、奈良先端科学技術大学院大学、京都信用保証協会、株式会社京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫株式会社三菱UFJ銀行、日本政策金融公庫、近畿経済産業局、京都府、京都市	報告事項 ・KPI の達成状況等について ・令和3年度及び令和4年度の推進協議会の取組みについて 講演・意見交換 ゲスト：京都フュージョニアリング株式会社 CEO 長尾 昂 様 テーマ：スタートアップのグローバル戦略について

■京都スタートアップアンケートの実施

府内のスタートアップに対して、アンケートを実施

実施方法 郵送依頼、オンライン回答

依頼企業数 430 社、回答企業 55 社（回答率 12.8%）

(3) 京阪神スタートアップ・エコシステムの連携

内閣府、経済産業省及び文部科学省の支援プログラムを活用する中で、京阪神スタートアップ・エコシステムの連携を強化した。

■京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)

内 容	文部科学省の社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型「拠点都市環境整備型」を活用し、京阪神の大学が連携する中で、アカデミアを起点としたエコシステムを構築し、経済界、行政機関も連携し、継続した大学発スタートアップの創出
-----	---

参画団体	62 機関	
	主幹機関	京都大学
	共同機関	大阪大学、神戸大学、大阪公立大学、大阪工業大学、関西大学、近畿大学、京都工芸繊維大学、京都府立大学、立命館大学、同志社大学、龍谷大学、京都先端科学大学、奈良先端科学技術大学院大学、兵庫県立大学、関西学院大学、甲南大学、大阪産業局、京都知恵産業創造の森
	幹事自治体	大阪府、京都府、兵庫県、大阪市、京都市、神戸市
	外部協力機関	長浜バイオ大学、滋賀医科大学、京都府立医科大学、京都精華大学、京都女子大学、関西経済連合会、関西経済同友会、京都経済同友会、大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所、国際電気通信基礎技術研究所、京都産業 21、京都高度技術研究所、LINK-J、NTT 西日本、三井住友銀行、三菱UFJ 銀行、みずほ銀行、りそな銀行、京都銀行、池田泉州銀行、みなの銀行、京都大学イノベーションキャピタル株式会社、大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社、三菱 UFJ キャピタル、日本ベンチャーキャピタル、SMBC ベンチャーキャピタル、京信ソーシャルキャピタル、中信ベンチャーキャピタル、池田泉州キャピタル、京銀リースキャピタル、堺市、関西広域連合、関西文化学術研究都市推進機構
事業内容	①起業活動支援プログラム 事業化を目指す研究シーズへの資金助成及び専門人材によるハンズオン支援 応募件数67件、採択件数 27件、採択総額 250,000千円 https://ksac.site/wp-content/themes/ksac/dl/gap.pdf ②起業家教育の指導・支援人材育成 学生の起業家教育の推進 ③起業環境の整備 起業に向けて必要となるプロトタイプの実成、プロモーション動画の制作や配信が出来る環境整備と相談窓口の設置 ④プラットフォーム内外のエコシステムの形成	